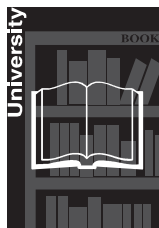


総合人間学部 履修モデル 2016

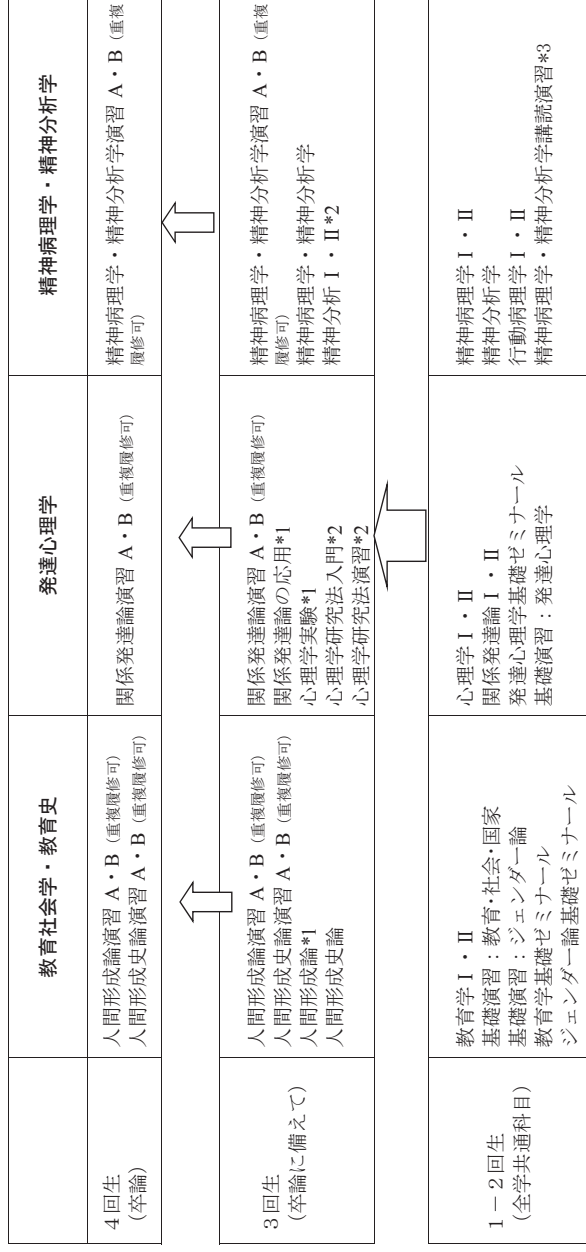
総合人間学部 履修モデル 2016



目 次

1.	人間科学系	
	人間形成論関係	1
	社会行動論関係	2
	文化社会論関係	3
	人間存在論関係	4
	創造行為論関係	5
	文芸表象論関係	6
2.	認知情報学系	
	認知・行動科学関係	7
	数理情報論関係	10
	言語科学関係	12
	外国語教育論関係	15
3.	国際文明学系	
	社会相関論関係	
	多文化社会論	18
	国際関係論	20
	国家・社会法システム論	22
	社会経済システム論	25
	公共政策論	27
	歴史文化社会論関係	
	歴史社会論	29
	東アジア文化論	30
	西欧文化論	32
4.	文化環境学系	
	比較文明論関係	
	多文化複合論	35
	地域文明論	36
	文明交流論	36
	文化・地域環境論関係	
	環境構成論	38
	文化人類学分野	40
	地域空間論分野	42
5.	自然科学系	
	物理科学	44
	化学・物質科学	45
	生物科学	46
	地球科学	47
6.	卒業生からの履修アドバイス	49
7.	あとがき	

人間形成論関係 履修モデル



*1 この科目は2回生から履修できます。

*2 この科目は1回生から履修できます。

*3 この科目は他の精神病理学・精神分析学関連の科目の既履修または並行履修が条件となります。

他学部科目に関しては16単位まで専攻科目として認定されますので、教育学部や文学部の便覧を閲覧の上、履修してください。
卒論のテーマや読むべき文献、研究方法などに関して、教育社会学……倉石一郎、教育史……小山静子、発達心理学……大倉得史、
精神病理学・精神分析学……松本草也が、それぞれ個別に相談に応じます。

社会行動論関係 履修モデル

	社会学	グループ・ダイナミックス 社会心理学	宗教学学・宗教学心理学
4回生 (卒論)	人間行動論演習A・B* 社会情報論演習A・B*		宗教学研究方法論演習B or A



3回生 (卒論に備えて)	人間行動論演習A・B* 社会情報論演習A・B* 人間行動論 社会情報論	グループ・ダイナミックス演習A・B 社会心理学演習A・B 心理学実験	宗教学研究方法論演習A or B 生命倫理学 宗教現象学
-----------------	----------------------------------------------	------------------------------------------	------------------------------------



1-2回生 (全学共通科目/ 基礎演習)	社会学Ⅰ・Ⅱ 社会学基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ 基礎演習:社会学Ⅰ・Ⅱ	グループ・ダイナミックス 社会心理学 グループ・ダイナミックス基礎ゼミナール 基礎演習:グループ・ダイナミックス 基礎演習:社会心理学 心理学Ⅰ・Ⅱ 心理学研究法入門・演習(学部科目)	左の社会学・社会心理学以外: 情報探索入門
----------------------------	----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

他学部科目十 *16単位まで専攻 単位として認定	系共通科目(社会学)(文) 社会学・特殊講義(文) 教育社会学概論ⅠⅡ(教) 臨床社会学概論ⅠⅡ(教) 現代教育社会論(教) メディア文化論(教)	系共通科目(心理学)(文) 心理学・特殊講義(文) 発達教育論ⅠⅡ(教) 心理学統計実習A・B(教) 生涯発達心理学基礎論(教) メディア教育概論(教)	左の社会学・社会心理学以外: 社会・環境・予防医学(医) 医の倫理(医) 法医学(医) 微分積分(理) 共通科目(倫理学)(文)
--------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

*他学部科目については、ここに挙げられている科目は、16単位まで、専攻単位として認定される。履修にあたっては、指導教員などの教員の印が必要。各科目の履修可能回生や授業内容は、各学部の便覧を閲覧すること(総合人間学部教務掛で閲覧可能)。

*3回生時に「人間行動論演習A・B」を履修した学生は、4回生では「社会情報論演習A・B」を履修すること(またはその逆)。

平成28年度 文化社会論関係 履修モデル

2016年4月

	ヒストリー・オブ・アイディアズ	動態映画文化論	制度・生活文化史	メディア・スタディーズ
4回生 (卒論)	ヒストリー・オブ・アイディアズ ヒストリー・オブ・アイディアズ演習Ⅱ	動態映画文化論Ⅰおよび／もしくはⅡ 動態映画文化論演習Ⅰおよび／もしくはⅡ	制度・生活文化史 制度・生活文化史演習	メディア・スタディーズ メディア・スタディーズ メディア・スタディーズ演習
	↑ ↑ ↑			
3回生 (卒論に備えて)	ヒストリー・オブ・アイディアズ ヒストリー・オブ・アイディアズ演習	動態映画文化論Ⅰおよび／もしくはⅡ 動態映画文化論演習Ⅰおよび／もしくはⅡ	制度・生活文化史 制度・生活文化史演習	メディア・スタディーズ メディア・スタディーズ演習
	3回生では、自らの関心対象、テーマに焦点を絞って学部科目を履修することを勧めます。卒論のテーマを複数挙げ、どれがよいかしつかり考えること。各教員が個別に相談に応じます。			
	↑			
2回生	ヒストリー・オブ・アイディアズ 動態映画文化論Ⅰおよび／もしくはⅡ 制度・生活文化史			
1-2回生 (全学共通科目)	1-2回生では、全学共通科目から、現代の社会や文化、さらには哲学・芸術・文学・思想・歴史・国際関係に関する授業を幅広く履修し、知識の地平を拡げておくことが望ましい。そのなかで思考の訓練を積み、自分の興味や問題意識がどこにあるかを探り、自らの視点を養ってほしい。語学力も磨いておくこと。			

* 専門科目はすべて重複履修可能です。ただし、それは必ず複数履修しなければならぬという意味ではありません。専門科目は3回生から始めてもいいのです。

人間存在論関係履修モデル

分野教員：富田恭彦、佐藤義之、安部浩、戸田剛文

学年ごとの履修モデルを下に例示しましたが、これはあくまで近代以降の西洋哲学思想を学ぶ一般的なケースであり、各人それぞれ興味関心も違うので、誰でも下の通りにすればよいとは限りません。積極的に教員に相談を持ちかけることを勧めます。また、卒業に必要な単位数は、『総合人間学部便覧』で確認してください。

1 回生：

- 「人間存在論関係」の1回生相当の講義科目(※)をひろくとること。
- 「人間存在論関係」の1回生相当の演習・セミナー科目(※)もいくつかとること。
- 語学については、英語のほかに第二外国語として独語、仏語のいずれかをとっておくこと。

2 回生：

- 「人間存在論関係」の2回生以上相当の講義科目(※)をひろくとること。
※ただし、「認識人間学」は1回生からとれます
- 上記第二外国語については引き続き中級をとり、さらに修得すること。とりわけ、卒論で扱いたい哲学者の使用する言語は熱心に学習すること。

3 回生：

- 3回生後期から卒論指導教員を決め、そのもとで卒論のための研究を始めることになります。そのためにはまず、卒論で扱いたい哲学者を決め、その研究に一番適切な教員を指導教員として選ぶべきでしょう。講義、演習を手がかりとしながら、主体的な学習のなかで、自らの関心をひく哲学者を卒論の研究対象として選んで下さい。
- 「人間存在論関係」の2、3回生以上相当の講義科目(※)をひろくとること。
- 「人間存在論関係」の3回生以上相当の演習科目(※)をとること（上記第二外国語に関する演習も）。

4 回生：

- 4回生相当「人間存在論特別演習」をとり、この授業で「人間存在論関係」教員全員による卒論指導をうけること。
- 「人間存在論関係」の3回生以上相当の演習科目(※)をとること。

各学年に共通：

- 「人間存在論関係」の科目だけに限定しようとせず、興味のひかれる科目には積極的に出て下さい（特に低学年では）。
- 上でも述べた通り、語学習得は非常に重要です。
- ギリシャ語、ラテン語も余裕があればどちらか履修しておくのが望ましい。
- 「自由科目」として文学部等他学部の科目を受講することも出来るので、興味のあるひとは積極的に利用することを勧めます。
- 副専攻については特に指示することはありません。自分の関心に応じて選んで下さい。

注：※印をつけた科目の個別の科目名は『総合人間学部便覧』の「人間存在論関係」の科目一覧表参照。

創造行為論関係履修モデル (分野教員：岡田温司、栗山智成、武田宙也)

創造行為論分野では、美や芸術の思想、理論、歴史を学びます。といっても、ジャンルや時代、地域が非常に多岐にわたります。たとえば、ジャンルとしては、哲学的な美学、美術史、演劇、音楽、建築、デザインやファッションなどがあります。皆さんのそれぞれの関心や興味に応じて、出来るだけひろく選択してください。また、基礎ゼミナールなどを通じて、教員に積極的にアプローチすることを勧めます。

1回生

- ◇ 「創造行為論関係」の基礎科目をひろくとること。
- ◇ 「創造行為論関係」の基礎ゼミナール、「基礎演習：西洋美術の歴史」をとること。
- ◇ 語学については、英語のほかにも少なくとももうひとつの外国語を履修すること。

2回生

- ◇ 「創造行為論関係」の2回生以上配当の授業科目をとること。
- ◇ 「創造行為論購読演習」を履修すること。
- ◇ 読解力のつく語学の授業を履修する。
- ◇ 1回生で未履修の場合は、基礎ゼミナールをとること。

3回生

- ◇ 「創造行為論関係」の3回生以上配当の演習科目をとり、卒論に向けて徐々に準備を始める。

4回生

- ◇ 引き続き、演習科目をとって、卒論の指導を受ける（なお、演習科目は重複可なので、単位はカウントされる。）

各学年に共通

- ◇ 第二外国語として、できれば2ヶ国語（ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語などから）を履修することが望ましい。
- ◇ 「創造行為論関係」の科目に限らず、各人の関心に応じてひろく履修する。
- ◇ 「自由科目」として文学部等の科目を履修することも可能。
- ◇ 副専攻については、各人の興味に応じて選択すること。

英米文芸表象論

ドイツ文芸表象論

カッコン内は他の「関係」科目であくまで一例です

4回生 (卒論)	<p>英米文芸表象論講義A・B (重複履修可) 英米文芸表象論講義IA・Bおよび/もしくはIIA・B (重複履修可) 英米文芸表象論演習IA・B (重複履修可) 英米文芸表象論演習IIA・B (指導教員の開講科目を履修することが必修)</p> <p>卒論のテーマ、調査・研究方法、および論文の作成方法などについては、英米文芸表象論では奥田敏広(ドイツ小説)が、それぞれ個別に対応しています。</p>	<p>ドイツ文芸表象論講義A・B(重複履修可、指導教員の開講科目を履修することが必修) ドイツ文芸表象論講義A・B(重複履修可)</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------



3回生 (卒論に備えて)	<p>英米文芸表象論講義A・B 英米文芸表象論講義IA・Bおよび/もしくはIIA・B (上記科目は、1～2回生時に履修した場合も重複が可能なので、意欲的に履修することを勧めます。) 英米文芸表象論演習IA・B</p> <p>3回生では、自分の興味のあるテーマに関連した学部科目や、卒論研究を進めるうえで必要な力を養うための学部科目を中心に履修することを勧めます。卒論のテーマをいくつか挙げながら、徐々に焦点を絞り込んでゆくこと。各教員が個別に相談に応じます。</p>	<p>ドイツ文芸表象論講義A・B、ドイツ文芸表象論演習A・B 英米文芸表象論講義A・B、ドイツ文芸表象論演習A・B (文明構造論演習III、文明構造論演習IV)</p>
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



1-2回生	<p>英米文芸表象論講義A・B 英米文芸表象論講義IA・Bおよび/もしくはIIA・B (着実な語学力を鍛えるために、1回生から履修可能な講義クラスに積極的に参加することを勧めます。)</p> <p>幅広い文学・思想・歴史・国際関係などに関する授業を履修していただきたい。視野を広げると同時に、今後の自らのテーマを決める上で役に立ちます。また、英語なりの語学力をしっかりと身につけましょう。</p>	<p>ドイツ文芸表象論講義A・B、英米文芸表象論講義A・B ドイツ文芸表象論講義A・B (文明構造論III、文明構造論IV)</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**《認知情報学系、認知行動科学関係》
＝先輩からの履修アドバイス＝**

● **まず始めに**

この学部には様々な学びとの出会いの場が提供されています。学部内に多種多様な分野の教授を抱えているだけでなく、他学部の授業が単位として認められやすいなど、非常に恵まれた環境が整っています。

しかし、この利点は同時に欠点にもなり得ることを頭の隅に入れて置いて下さい。学びは向こうから勝手に提供されるものではありません。特に総合人間学部はその色が強く、自ら主体的に動かないと何をしていたいか分からなくなってしまいます。京大一自由な環境を生かすも殺すもあなた次第です。せっかく総合人間学部に合格しこの貴重なチャンスを手に入れているのですから、この学部の利点を最大限に活かし、主体的に動いていきましょう！

● **私の履修表（科目名が変更されており要注意！）**

	主専攻	副専攻	一般教養	履修科目
一回	14	2	20	一般教養科目、入門科目中心
二回	12	14	10	視覚科学 A、運動科学 社会学基礎論、心理学基礎論 A
三回	22	4	2	認知機能論 分子運動医科学ゼミ、運動の生理学
四回	8	0	0	認知神経心理学基礎ゼミ A 記憶機能論

入門科目は各教授が自らの研究を分かりやすく説明してくれるので、色々な分野に興味を持つ事が出来ます。私は入門科目と一般教養を中心に取りました。

興味のある分野について、主専攻副専攻問わず、基礎的な知識が得られる授業を取っていました

自分の専門分野を認知・行動科学関係と決め、ゼミなどの応用的な知識が得られる授業を取

自分の研究分野に関わる主専攻科目だけを受けながら、卒業論文の作成に集中しました。

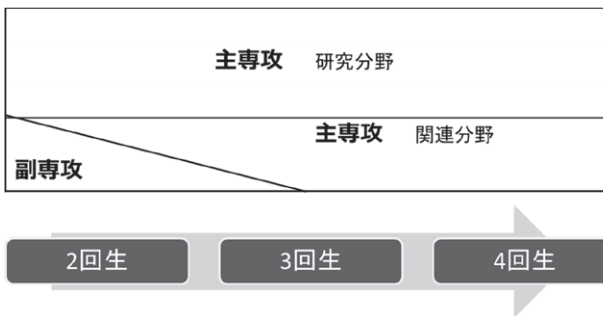
なお、**認知科学・心理学**に興味のある方は、研究の方法論を学ぶうえで、以下の科目の履修が強く推奨されています。

- 1 回生 **心理学研究法入門**（前期、金曜 4 限）
 心理学研究法演習（後期、金曜 4 限）
- 2 回生 **心理学実験**（前期、火曜 4-5 限）

履修の仕方が周りと違ってくるのは二回生からだだと思います。私が考えた幾つかの履修パターンを提示しておくので、自分なりのパターンを作る参考にしてみてください。

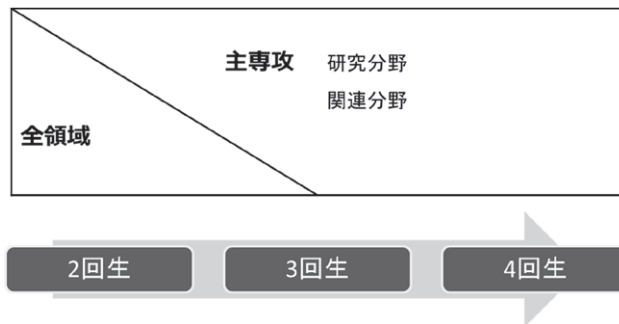
● 履修パターン

1. じっくり総合人間する



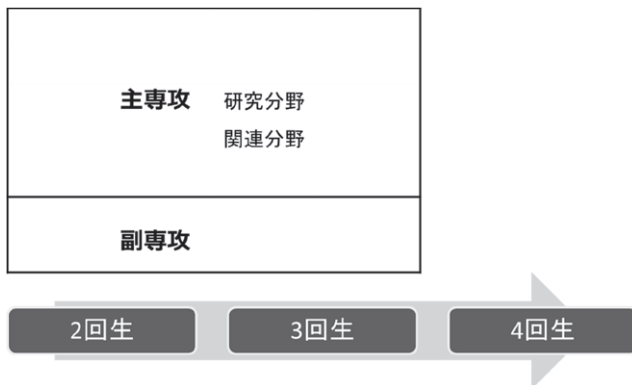
自分のやりたい事を決めていて、着実に研究分野を探索していきたい人向けのパターン。三年間かけて研究分野を学びつつ、平行して同じ学系で関連した研究を行っている教授の講義も聴いていくという流れです。毎年同じペースで単位を取っていくので、マイペースに進めていきたいという人向けでもあります。

2. もっと総合人間する



まだまだ自分の専門分野が決められないという人は、二回生のうちは専門分野を限定せず色々な分野の講義を取ってみましょう。専門分野の単位は三回生からで十分間に合いますし、主専攻にならなかった分野の単位を副専攻にしてしまえば無駄も省けるので心配しなくても大丈夫です。メリットとしては未知の分野に挑戦する事で、より良い研究対象を見つける事が出来る可能性があります。

3. 自分なりの総合人間学を見つける



総合人間学部では三回生の内に授業による単位を全て取ってしまうことが可能で、卒論を書く事を除いて四回生の一年間好きな事をする事も出来ます。大学生だからといって、大学だけで学ぶ必要は必ずしも無く、学びの場は学外にもいっぱい存在しています。主体的に学ぶよい経験にもなるので、学校から解放される期間を作る事も良いことだと思います。

● 研究室&卒業論文について

1. 研究室の配属

私達の時は三回生の後期に研究室に配属されました。同じ学系であっても研究室によって雰囲気や全く違うので、配属される研究室を決定する前に、実際に自分の興味のある研究室に足を運んでみてはどうでしょうか（私のときは学系ごとの研究室ツアーがありました）。就職される方は就職活動など自分の行いたいこととの兼ね合いもあると思うので、しっかり先生と相談しながら研究室を決めることをオススメします。

2. 配属後～卒業論文制作

三回生後期から実際に研究室に通いだし、先輩の研究を手伝うなどしながら卒業論文のテーマについて模索しました。私は卒業論文のテーマを四回生の春に決定し、実際に実験を始めたのは夏からでした。卒業論文の提出は一月末で、発表が二月初旬です。この時期は本当に忙しく、修羅の毎日です。思っているより時間が無いので、先生や先輩の話を聞きながら早め早めの準備を大切にしましょう！

数理情報論関係モデル履修表

学年	コア科目	関連科目
1	微分積分学(講義・演義)A・B [mi][前・後] 線形代数学(講義・演義)A・B [mi][前・後] 情報数学 I・II [i][前・後] 情報基礎(全学向) [i][前] 情報ネットワーク [i][後] プログラミング演習(Ruby) [i][後]	現代数学の基礎 A・B [m][前・後] 情報数学 I・II [m][前・後] 情報基礎演習(全学向) [i] コンピュータグラフィックス実習 [i][前][後]
2	微分積分学統論 Iーベクトル解析 [m][前] 微分積分学統論 IIー微分方程式 [m][後] 線形代数学統論 [m][前] 集合と位相 [m, 理学部][前] 集合と位相演習 [m, 理学部][前] 数理論理学 A・B [mi][前・後] 情報ネットワーク [i][後]	確率論基礎 [m][前] 解析学入門演習 [m, 理学部][後] 集合と位相 [i, 理学部][前] 集合と位相演習 [i, 理学部][前] 基礎数学からの展開 A[m, 理学部][前]
2・3	実解析 A・B [m, 隔年][前・後] 関数論 [m][後] 複素解析 [m, 隔年][前] 数理現象論 A・B [m, 隔年][前・後] 数理構造論 A・B [m, 隔年][前・後] 数理科学ゼミナール [mi, 重複履修可][後] 数理科学特論 I,II,III [mi][後] 計算と位相 [mi, 隔年][前] 計算論 [i, 隔年][前] 計算機科学の基礎 A・B [i, 隔年][前] 情報処理の方法と演習 A・B [i, 隔年][前] プログラミング演習(Lisp) [i][前] プログラミング演習(Haskell) [i, 隔年][後] プログラミング演習(Java) [i][前] プログラミング演習(数理的応用) [i][後] プログラミング演習(Matlab) [i][前]	非線型数学 [m][前] 非線型数学セミナー [m][後] 代数学入門 [m, 理学部][後] 代数学入門演習 [m, 理学部][後] 幾何学入門 [m, 理学部][後] 幾何学入門演習 [m, 理学部][後] 基礎演習: Intro to Computation and Logic [i][前] Information Network [i][後] その他, 全学共通科目や理学部・工学部等で開講されている数学・情報科学関連の科目
4	数理科学論講究 [mi][通年] 数理科学ゼミナール [mi, 重複履修可][後] 数理科学特論 I,II,III [mi][後]	

- この表は、主に数学に興味のある人向けと情報科学に興味のある人向けの、2通りの履修モデルを表しています。数学に興味のある人は表中の [] の中に m のついた科目を、情報科学に興味のある人は i のついた科目を見てください。なお [前], [後] などは開講時期を示しています。

- []の中に「理学部」とある科目は理学部の専門科目、特に明示のない科目は全学共通科目、または総合人間学部の専門科目です。理学部・工学部等で開講されている数学・情報科学関連の科目も16単位まで主専攻科目として認められるので、積極的に履修してください。
- 将来どのような研究を行うにもここに掲げた「コア科目」は重要ですので、可能な限り履修してください。必要と興味に応じて「関連科目」も履修してください。また、数学と情報科学は密接に関係しているので、mのついた科目だけ、iのついた科目だけに制限せず、それ以外の科目も積極的に受講することを勧めます。
- 特に「微分積分学(講義・演義)A・B」と「線形代数学(講義・演義)A・B」はすべての数学の基礎であり、情報科学のためにも重要です。1回生のときに十分時間をかけて学んでください。
- 数学や情報科学を学ぶ理想的な形態はセミナーです。卒業研究指導もセミナー形式で行われます。「数理科学ゼミナール」はセミナー形式に早い段階で触れる機会として設けられていて、2～4回生の間に複数回履修することができるので、なるべく早いうちに、可能な限り2回生では是非受講してください。
- 「数理科学論講究」は卒業研究に平行して専門的内容を学ぶための科目です。
- 「数理科学特論I, II, III」は学外から招いた講師による1週間の集中講義です。特定のテーマについて基礎的な部分から先端的な内容までを紹介します。前期の終わり頃に掲示があるので注意してください。
- 理学部科目の「現代数学の基礎A・B」は微分積分学A・Bの内容を更に厳密に講義するもので、将来数学を専攻する学生向けのものです。
- 理学部科目の「解析学入門演習」「代数学入門演習」「幾何学入門演習」は問題演習を小テスト形式で行う科目です。扱う内容はそれぞれ、ベクトル解析と微分方程式と関数論、群・環・体・加群などの代数系(＝代数学入門の内容)、多様体論の初歩(＝幾何学入門の内容)です。数学を専攻したい学生は是非履修することを勧めます。
- 「複素解析 [隔年]」は「関数論」を履修した後に受講することを勧めます(「複素解析」の内容は「関数論」に引き続くものです)。

☆☆☆認知情報学系 言語科学関係の履修モデル☆☆☆

1. はじめに

言語科学関係で勉強するのは、ひと言で言えば「コトバの研究」です。みなさんは高校で英語を学び、大学に入ってその他の外国語を学んでいるでしょう。英語やその他の外国語は、日本語とは使う文字もちがいがい、発音も文法もちがっています。なぜこんなに多様な言語が存在するのか実に不思議です。もっと不思議なのは、これだけ異なる言語を用いて、人々はほぼ同じ意味を相手に伝えているということです。

コトバは狭義の言語学の研究対象となるだけではありません。私たちの思考を支えコミュニケーションの道具として働いています。私たちはコトバなしには考えることができず、また意思の伝達なしには社会も成り立ちません。このため言語科学は、哲学、心理学、脳科学、認知科学、生物学、社会学、人類学、計算機科学などと密接なつながりを持っています。この意味で、「人間とは何か」を幅広く問う総合人間学部目標に最もふさわしい学問だと言えるでしょう。

2. この関係で勉強できること

言語科学関係に所属する教員は、大きく二つのグループに分かれています。一つ目は大学院人間・環境学研究科で〈言語情報科学分野〉に属している教員で、理論言語学を研究しています。理論言語学とは、人間の言語能力の特性やその使用、他の認知能力との関係、談話によるコミュニケーションなどを、モデル化することで説明しようとする学問です。認知言語学、生成文法、談話機能文法などの言語理論に基づき、コトバの仕組みと働きを通してヒトの心の機序を解明しようとしています。

二つ目は大学院で〈言語比較論分野〉に属している教員です。この分野では比較言語学や対照言語学と呼ばれている領域を軸として、現地調査や実験的手法なども駆使し、実際の言語データを用いた実証的な方法で、言語体系の法則性・普遍性や言語変化のメカニズムを探っています。

みなさんはこの関係の教員の講義や演習を通じて、コトバを研究することのおもしろさに触れ、同時にコトバがいかに精妙に作り上げられているかを、さまざまな面において感じることができるでしょう。

3. 全学共通科目について

みなさんが最初にコトバの研究に触れることができるのは、全学共通科目の「言語科学」です。この科目では言語科学関係に所属する教員が、特定の分野に偏らずに幅広くコトバの科学について講義しています。1回生から履修できますので、ぜひ受講することを勧めます。また哲学、論理学、心理学、人類学などにも言語に関係の深い講義がありますので、こういった講義にも出席するとよいでしょう。

しかし何と言っても言語科学にいちばん深く関わるのは外国語科目群です。コトバを研究する人はコトバを深く知らなくてはなりません。1回生・2回生のあいだに外国語科目をしっかりと勉強し

てください。いろいろな外国語を勉強するなかで、なぜイタリア語では「あなた」と言うときに3人称の代名詞を使うのかとか、なぜロシア語には完了体と完了体という動詞の区別があるのかとか、なぜ日本語では探していたものを見つけたときに「あった」と過去形を使うのかなどの疑問を持つようになるでしょう。このような疑問が学問のタネになるのです。

4. 学部専門科目について

1回生・2回生のうちは全学共通科目を中心に履修していて、自分がおもしろいと思えるものを探している段階ですので、それほど専門性は求められません。ですから幅広くいろいろな講義を履修するのがよいでしょう。

しかしいつまでも幅広く勉強しては、学問に求められる〈深く追求する〉ということができません。3回生になったらそろそろ「自分は英語の語順の歴史を研究してみよう」とか、「日本語の敬語を研究しよう」とか、研究対象の言語と研究テーマを考えなくてはなりません。言語科学関係では3回生の後期から指導教員を決めることになっています。ですから3回生になったら、そのことを意識して講義・演習を選び、教員に個人的に相談に行くことを勧めます。総合人間学部は、じっと待っていればほどよく調理されたメニューが出て来るという所ではありません。学生諸君が自分から探しに行かないといけない場所です。教員アドバイザーに相談したり、授業のあとで教員に質問するなど、自分から積極的に行動するようにしてください。総合人間学部の特色ある環境を生かすも殺すもあなた次第なのです。

4回生の初めに「研究題目届」という儀式があります。やがては卒業論文という形になる研究テーマを選んで届けるのです。「英語の be 受動文と get 受動文に関する機能的研究」とか、「日本語の終助詞『ね』の認知機能」のように具体的なテーマを届けなくてはなりません。そのためには3回生の後期から指導教員と相談し、読むべき本を推薦してもらったりする必要があります。そのためには3回生の初めあたりから、〈幅広く勉強〉から〈焦点を絞って勉強〉という方向に少しずつ転換していかなくてはなりません。

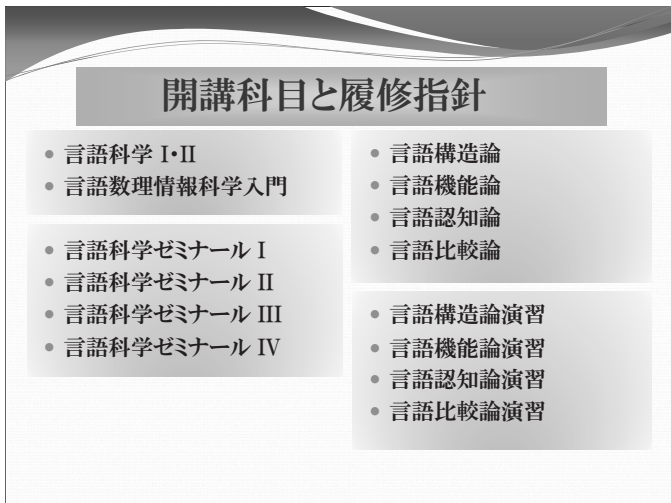
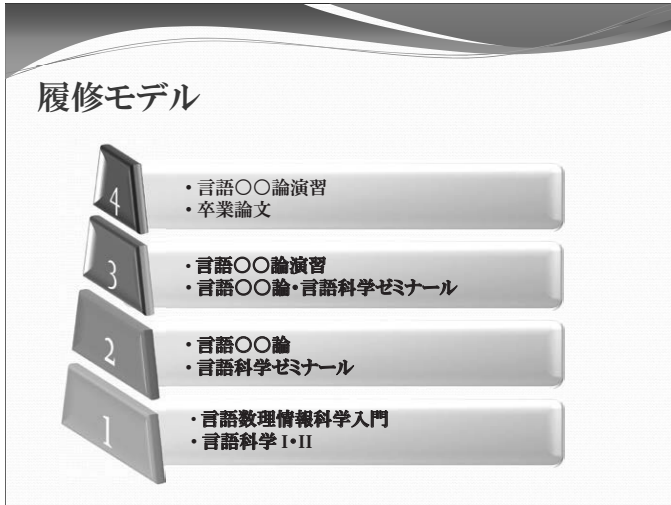
5. 卒業論文について

総合人間学部では、がんばれば3回生まででほぼ卒業に必要な単位を取ることができます。4回生は丸々卒業論文に当てることができるよう、3回生まででできるだけ単位を取っておくのがよいでしょう。卒業論文はみなさんの4年間の勉強の集大成です。そこに今まで勉強してきたことのすべてが現れます。

3回生の後期から指導教員が決まりますので、後期の半年をかけて指導教員と相談して卒論のテーマを決めます。4回生の初めに「研究題目届」を提出して、いよいよ具体的に卒論の製作に入ります。これからが修羅の道ですが、卒論完成までの具体的な道程と方法は指導教員によってそれぞれちがいますので、ここでは詳しくは述べません。

6. 履修モデルチャート

以下に履修モデルチャートを示しますが、これはあくまで参考にすぎません。これを参考にして自分に合った履修計画を立ててください。



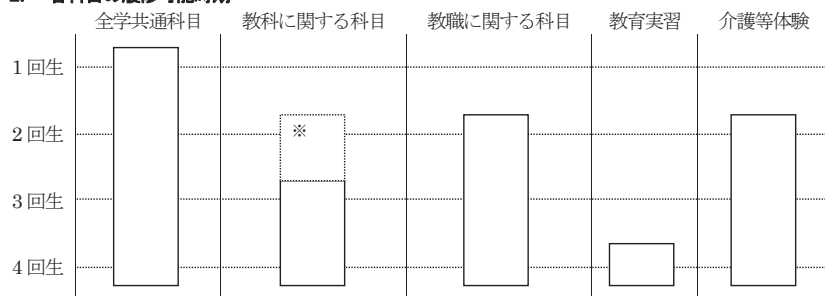
京都大学総合人間学部における英語教諭免許状取得について

1. 京都大学で取得できる教育職員免許状

- ・ 高等学校教諭一種免許状／専修免許状
- ・ 中学校教諭一種免許状／専修免許状
- ・ 特別支援学校教諭一種免許状

近年重視されている「専修免許状」は、大学院修士課程に在籍し、規定の単位修得が必要です。総合人間学部生のみなさんが英語の教員免許状を取得する場合は、上記の「高等学校一種」、「中学校一種」のいずれか、または両方取得することになります。

2. 各科目の履修可能時期

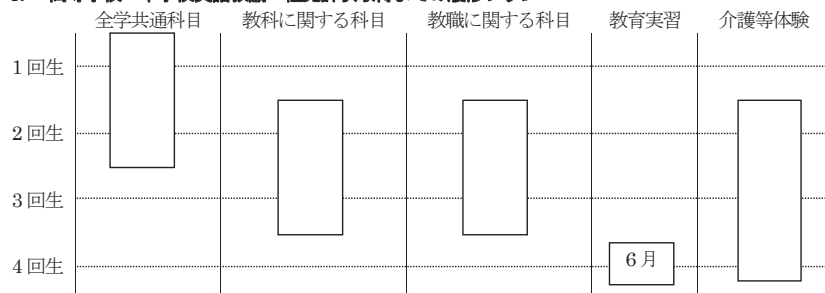


各科目の一例

- ・ 全学共通科目：「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」
- ・ 教科に関する科目：「英語学」「英米文学」「英語コミュニケーション」「異文化理解」
- ・ 教職に関する科目：「教職教育論」「教育方法論」「英語科教育法」「道徳教育論（中学）」
- ・ 教育実習：「教育実習Ⅰ（中学）」「教育実習Ⅱ」
- ・ 介護等体験（中学）

* 英語の場合、「教科に関する科目」はすべて総合人間学部提供の授業において取得することが可能で、そのほとんどが2回生から履修できます。しかし、「教職に関する科目」はすべて教育学部開講なので、**総人の履修登録とは別に教育学部で教職科目専用の履修登録をする必要があります！** 注意しましょう。

3. 高等学校・中学校英語教諭一種免許状取得までの履修プラン



4. 教育実習について

- ・ 説明会（3回生の4月中旬）
 - ・ 事前指導（4回生の4月中旬、5月上旬）
 - ・ 実習（原則として出身校で実施。中学校免許状希望者は4週間、高等学校免許状希望者は2週間。実習時期は各学校により異なるが、たいいては5～6月か9～10月に実施）
 - ・ 事後指導（10月中旬～12月）
- * 「教科に関する科目」、「教職に関する科目」の単位取得が順調でない場合、教育実習の参加資格が与えられないことがあります。3回生終了までに大部分の単位を揃えておくようにしましょう。

5. 介護等体験について（通常2回生で実施）

- ・ 中学校教諭免許状取得希望者のみ必修
- ・ 特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間
- ・ 原則として出身都道府県で実施
- ・ 4月・10月に次期参加希望者を対象とした説明会を実施

6. 教員採用試験について（都道府県により異なる）

- ・ 5月に願書配布、提出
- ・ 7月に一次選考、9月に二次選考

7. 先輩からのアドバイス

- ・ 総合人間学部と教育学部の掲示板、特に教免関係の掲示はこまめに確認すること。説明会の開催や、各種提出物に関する掲示が突然行われます。掲示期間が短いことが多々あり、困惑したり不利益を被ったりするので要注意です。
 - ・ 様々な説明会や提出物があり、厳しく時期が決められています。神経質に掲示を確認し、遅滞なく出席・提出しないと、認められないことがあるので要注意です。
 - ・ 教免科目が総人の卒業単位とどのように関係してくるのかを調べておくこと。とくに「教科に関する科目」は所属学系によっては卒業単位と教免単位の両方にカウントできるものがあるため、効率的な単位取得が可能になる場合があります。
例：認知情報学系の学生が「言語構造論A」を取得する場合など。
 - ・ 教免関係の科目数（つまり必要単位数）が他の学生に比べ格段に多いので、覚悟するとともに、全科目は1回生、教科と教職科目は2回生と3回生で確実に履修すること。ほぼ毎日、1日中授業が入ります。教員養成大学では全員が同じ決められたスケジュールで動くので混乱はないですが、本学ではあくまでもオプションなので、自己管理が必要です。最後に掲載したチェック表を活用し、きちんと確認しましょう。
 - ・ 可能な限り英語に関する様々な分野（主に英語学と英米文学、文化論など）を履修することが望ましい。採用試験で生きてくるとともに、英語教員として備えておくべき最低限度の知識が提供されています。
 - ・ 近年、読む・書くはもちろんのこと、聞く・話す技能が要件とされており、機会を見つけて研鑽を積むことが大切です。採用にあたっては、英語圏での生活・勉強経験が非常に重視されています。
- * この資料は外国語教育論講座所属大学院生 YH くん、JS くん の協力で作成されました。**あくまでも目安・参考資料ですので当該年度の案内に従ってください。**変更されている点やアドバイスなどは気軽に中森准教授までお知らせください。

めざせ 教員免許取得！ 必要事項チェックリスト

本学学生が教員免許を取得する場合、最も大切なことは「スケジュールの自己管理」です。説明会の実施や書類の提出に関する連絡は掲示によってしか行われな場合がほとんど。よって学生はつねに、「何月ごろに〇〇をし、△△の掲示が出るはずだ」ということを頭に叩き込んでおかねばなりません。うっかり時期を逃して必要な手続きを逃してしまった！ ということの無いように注意しましょう。

【1～2 回生時】

- 全学共通科目の必要単位は取得したか？
日本国憲法、スポーツ実習、語学、情報機器の操作はすべて必修となっています。なるべく1回生の間に習得しましょう。
- 教科に関する科目、教職に関する科目を履修しているか？
これらはほとんどが2回生から履修可能です。とくに各教科教育法は通年登録が必要であるため、他の授業との重複が無いよう、年間計画をしっかりと立てた上で登録しましょう。
- 介護等体験の参加申し込みは済んだか？（4月・10月）
中学一種免許状を取得する場合は必修です。

【3 回生時】

- 母校に教育実習参加のお願いをしたか？
教育実習の参加申し込みは実施の1年前に行います！4月の中～下旬になったら自分で母校を訪問し（または電話をかけ）、「来年度の教育実習に参加したい」との旨を伝え内諾をもらう必要があります。近年では実習希望者の増加に伴い、「電話を掛けた頃にはすでに母校側の定員が一杯だった」という事例も見られます。あまり連絡が遅くならないよう注意しましょう。
- 総人の教務係で必要書類をもらってきたか？（4月下旬）
大学提出用の申込書や、母校に提出する内諾書などがまとめられています。教務係の窓口を訪れ、早めに手に入れましょう。
- 教育学部で行われる説明会に参加したか？（4月中旬）
説明会に参加した上で、担当の教員から上記の書類に押印を受ける必要があります。合は必修です。

【4 回生時】

- 教育実習事前指導に参加したか？（4月中旬）
総人教務係で「教育実習ノート」をもらい、必ず事前指導に参加して押印を受けましょう。全体指導と教科別指導の両方に参加しなければなりません。
- 教育実習ノートを提出したか？（実習終了後）
- 教科別事後指導に参加したか？（10～12月）
事前指導とは違い、こちらには全体指導はありません。掲示をよく見て、教科毎に指示される日時・場所にて指導を受けましょう。
- 教員免許の申請は済んだか？（10～11月）
教員免許は、必要単位を取得し、教育実習を済ませるだけで自動的に手に入るものではありません！京都府に申請料を納めた上で、自分で書類申請する必要があります。4回生後期に入ったら掲示に目を光らせましょう。二次申請および三次申請が必要であるという点にも注意してください。
- 卒業式に出よう！（3月）
実際に「教員免許状」が皆さんの手元に届くのは卒業式の日です。全体の卒業式の後、総人で開催される学位授与式で学位記と共に手渡されます。「これが教員免許か……！」と感動ものです。胸を張って友人に自慢するのもよいでしょう。

**国際文明学系 社会相關論関係・歴史文化社会論関係横断型
多文化社会論を中心に
履修モデル**

(文責 前川玲子)

主：主専攻科目 入：学系入門科目 外：外国語科目（第1/第2）
自：自由科目（幅広く修得すること） 他：他学系開講科目
副専攻科目は省略 卒：卒業論文 / 卒業研究

〈1回生 前期〉 16科目

入：国際文明学入門 A	入：人間科学入門
主：社会経済システム論 I A	主：国際政治論 I
主：政治学 I	主：日本国憲法
主：基礎演習：国際政治論	主：中国文字文化論
外1：英語	外1：英語
外2：○語	外2：○語
自：現代文明基礎ゼミナールⅢA 等	自：任意

〈1回生 後期〉 16科目

入：国際文明学入門 B	入：文化環境学入門 A or B
主：社会経済システム論 I B	主：国際政治論 II
主：国際法入門	主：憲法（人権）
主：国際政治論基礎ゼミナール	主：中国書誌論
外1：英語	外1：英語
外2：○語	外2：○語
自：現代文明基礎ゼミナールⅢB 等	自：任意

〈2回生 前期〉 14科目＋副専攻科目

主：多文化社会論 I A	主：現代社会論 II A
主：国際関係論 I A	主：国際関係論（II－IV） A
主：国家・社会法システム論ⅢA	主：文明構造論（I－IV） A
他：文化交渉複合論 A	
外1：英語	外1：英語
外2：○語	
自：任意	

主：主専攻科目 入：学系入門科目 外：外国語科目（第一、第二） 自：自由科目
副専攻科目は省略

<一回生 前期>

入：国際文学入門A 入：他学系開講科目
主：国際政治論Ⅰ 主：基礎演習：国際政治論
主：政治学Ⅰ 主：経済学ⅠA
主：社会経済システム論ⅠA 主：日本国憲法
外一：英語 外一：英語
外二：○語 外二：○語
自：任意の科目 自：任意の科目

<一回生 後期>

入：国際文学入門B 入：他学系開講科目
主：国際政治論Ⅱ 主：国際政治論基礎ゼミナール
主：政治学Ⅱ 主：経済学ⅠB
主：国際法入門 主：社会経済システム論ⅠB
外一：英語 外一：英語
外二：○語 外二：○語
自：任意の科目 自：任意の科目

<二回生 前期>

主：国際関係論ⅠA 主：国際関係論ⅡB
主：公共政策論ⅠA 主：多文化社会論ⅠA
主：多文化社会論演習ⅠA 主：国家・社会法システム論ⅢA
主：文明構造論ⅡA 主：公共政策論ⅡA
外一：英語 外二：○語
自：任意の科目 自：任意の科目 自：任意の科目

<二回生 後期>

主：国際関係論ⅠB 主：公共政策論ⅠB
主：法学 主：多文化社会論ⅠB
主：多文化社会論演習ⅠB 主：国家・社会法システム論ⅢB
主：文明構造論ⅡB
外一：英語 外二：○語
自：任意の科目 自：任意の科目 自：任意の科目

<三回生 前期>

主：国際関係論演習ⅠA 主：国際関係論ⅣB
主：国家・社会法システム論演習ⅢA 主：公共政策論演習ⅠA
主：現代社会論ⅡA 主：公共政策論演習ⅡA
主：卒業論文（指導）
自：任意の科目 自：任意の科目 自：任意の科目

<三回生 後期>

主：国際関係論演習ⅠB 主：統治機構論

主：国家・社会法システム論演習ⅢB 主：公共政策論演習ⅠB

主：現代社会論ⅡB 主：卒業論文（指導）

自：任意の科目 自：任意の科目 自：任意の科目

<四回生 前期>

主：国際関係論演習ⅠA 主：文明構造論演習ⅠA

主：卒業論文（指導）

<四回生 後期>

主：国際関係論演習ⅠB 主：文明構造論演習ⅠB

主：卒業論文（指導）

2016 年度 国際文明学系社会相関論関係
「国家・社会法システム論」履修モデル

I. 所属教員

本分野は法学を中心に構成されています。

- ・ 小畑 史子 (おばた ふみこ) 教授 (労働法)
- ・ 那須 耕介 (なす こうすけ) 准教授 (法哲学)
- ・ 見平 典 (みひら つかさ) 准教授 (憲法・司法政治)

II. 履修モデル

法学を中心に社会科学系の諸科目を履修し、人間や社会を見る目を養います。

主：主専攻科目 入：学系入門科目 外：外国語科目 (第1/第2外国語)

自：自由科目 卒：卒業論文/卒業研究 ※副専攻科目は省略

■1 回生前期【15科目】

入： 国際文明学入門A

入： 他学系開講科目

主： 法学

主： 日本国憲法

主： 労働と法 I

主： 政治学 I

主： 任意の講義科目

主： 任意の講義科目

主： ※1の基礎演習科目

主： ※1の基礎演習科目

外①：英語

外①：英語

外②：○語

外②：○語

自：

■1 回生後期【15科目】

入： 国際文明学入門B

入： 他学系開講科目

主： 契約関係原理論

主： 統治機構論

主： 労働と法 II

主： 思想と法

主： 政治学 II

主： 任意の講義科目

主： ※2の基礎ゼミナール科目

主： ※2の基礎ゼミナール科目

外①：英語

外①：英語

外②：○語

外②：○語

自：

■2 回生前期【13科目＋副専攻2科目】

主： 国家・社会法システム論ⅡA

主： 国際関係論ⅠA

主： 多文化社会論ⅡA

主： 社会経済システム論ⅠA

外①：英語

自：

自：

主： 国家・社会法システム論ⅢA

主： 公共政策論ⅠA

主： 経済と数学A

主： 社会経済システム論ⅢB

外②：○語

自：

■2 回生後期【13科目＋副専攻2科目】

主： 国家・社会法システム論ⅠA

主： 国家・社会法システム論ⅢB

主： 公共政策論ⅠB

主： 経済と数学B

外①：英語

自：

自：

主： 国家・社会法システム論ⅡB

主： 国際関係論ⅠB

主： 多文化社会論ⅡB

主： 社会経済システム論ⅠB

外②：○語

自：

■3 回生前期【12科目＋副専攻2科目】

主： 国家・社会法システム論演習ⅠA

主： 国家・社会法システム論演習ⅢA

主： 公共政策論ⅡA

主： 任意の科目

自： 法学部開講科目

自：

主： 国家・社会法システム論演習ⅡA

主： 社会経済システム論ⅢA

主： 多文化社会論ⅠA

主： 任意の科目

自：

自：

■3 回生後期【12科目＋副専攻2科目＋卒論指導】

主： 国家・社会法システム論ⅠB

主： 国家・社会法システム論演習ⅡB

主： 公共政策論ⅡB

主： 任意の科目

自： 法学部開講科目

自：

主： 卒業論文（指導）

主： 国家・社会法システム論演習ⅠB

主： 国家・社会法システム論演習ⅢB

主： 多文化社会論ⅠB

主： 任意の科目

自：

自：

■4 回生前期【2科目＋副専攻2科目＋卒論指導】

主： 国家・社会法システム論演習ⅠA or ⅡA or ⅢA

主： 任意の演習科目

主： 卒業論文（指導）

■4 回生後期【2科目＋副専攻2科目＋卒論指導】

主： 国家・社会法システム論演習ⅠB or ⅡB or ⅢB

主： 任意の演習科目

主： 卒業論文（指導）

※1 基礎演習 労働と法

基礎演習 思想と法

基礎演習 現代社会と法

※2 労働と法 基礎ゼミナール

思想と法 基礎ゼミナール

現代社会と法 基礎ゼミナール

Ⅲ. 進路

法学を学ぶことを通して磨かれる、論理的思考力や人間・社会に対する洞察力・分析力は、社会の様々な分野で求められています。特に、法曹界（裁判官・検察官・弁護士）、政界（議員・政策秘書）、官界（国家公務員・地方公務員）、マス・メディア（新聞社、出版社、テレビ局）、シンクタンク等を志望する学生さんは、ぜひ本分野の履修を検討してみてください（もちろん、その他の職種を志望する学生さんも広く歓迎しています）。なお、本分野で卒業論文を執筆した先輩は、以下のように、現在社会の多方面で活躍しています（以下は、2009-2015年度卒業生）。

■進学

京都大学大学院人間・環境学研究科、京都大学大学院法学研究科（3名）、京都大学公共政策大学院、東京大学公共政策大学院（3名）、早稲田大学大学院法務研究科、中央大学大学院法学研究科

※法科大学院修了後、司法試験に合格し、既に裁判官・弁護士として活動している先輩もいます。

■就職

京都市役所、神戸市役所、兵庫県庁、福岡県庁、京都府警察、大阪国税局、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほフィナンシャルグループ、農林中央金庫、有限責任監査法人トーマツ、テレビ朝日、共同通信社、三井物産、住友電気工業、日本写真印刷、東京YMCA

国際文明学系 社会相関論関係 社会経済システム論グループ
履修モデル (文責 大黒弘慈)

主：主専攻科目 入：学系入門科目 外：外国語科目 自：自由科目
副専攻科目は省略

1 回生 前期

入：国際文明学入門 A	入：他学系入門科目
主：社会経済システム論 I	主：経済学 I (経済思想)
主：基礎演習：経済思想	
自：現代の経済学 I	自：現代経済社会論 I 他、任意
外 1：英語リーディング	外 1：英語ライティングーリスニング A
外 2：○語 I A	外 2：○語 I A

1 回生 後期

入：国際文明学入門 B	入：他学系入門科目
主：社会経済システム論 II	主：経済学 II (経済思想)
主：経済原論基礎ゼミナール	
自：現代の経済学 II	自：現代経済社会論 II 他、任意
外 1：英語リーディング	外 1：英語ライティングーリスニング B
外 2：○語 I B	外 2：○語 I B

2 回生 前期

主：社会経済システム論 III A	主：社会統計学実習 A
主：比較経営組織論 A/B	主：国際関係論 IV A
主：現代社会論 I A	主：現代社会論 II A
主：現代経済文明論 I A	
自：任意	
外：英語 (E 科目)	外：英語 (E 科目)
外：○語 II A	外：○語 II A

2回生 後期

主：社会経済システム論ⅢB

主：社会統計学実習 B

主：現代社会論ⅠB

主：現代社会論ⅡB

主：経済学ⅡB

自：任意

外：英語（E科目）

外：英語（E科目）

外：○語ⅡB

外：○語ⅡB

3回生 前期

主：社会経済システム論演習ⅢA

主：現代社会論演習ⅡA

主：社会経済システム論演習ⅠA

自：任意

3回生 後期

主：比較経営組織論 B/A

主：国際関係論ⅣB

主：社会経済システム論演習ⅢB

主：現代社会論演習ⅡB

主：社会経済システム論演習ⅠB

主：現代経済文明論ⅠB

自：任意

4回生 前期

主：社会経済システム論演習ⅢA

主：現代社会論演習ⅠA

主：社会経済システム論演習ⅠA

主：卒業論文

4回生 後期

主：社会経済システム論演習ⅢB

主：現代社会論演習ⅠB

主：社会経済システム論演習ⅠB

主：卒業論文

国際文明学系 社会相關論關係 公共政策論分野
履修モデル (文責 佐野亘)

主：主専攻科目 入：学系入門科目 外：外国語科目 自：自由科目
副専攻科目は省略

1回生 前期

入：国際文明学入門 A	入：他学系入門科目
主：社会経済システム論 I A	主：法学
主：政治学 I	主：国際政治論 I
主：経済学 I	主：基礎演習：環境経済・政策論
自：任意	自：任意
外 1：英語リーディング	外 1：英語ライティング・リスニング A
外 2：○語 I A	外 2：○語 I A

1回生 後期

入：国際文明学入門 B	入：他学系入門科目
主：公共政策論 I	主：環境と法
主：政治学 II	主：国際政治論 II
主：経済学 II	主：環境経済・政策論基礎ゼミナール
自：任意	自：任意
外 1：英語リーディング	外 1：英語ライティング・リスニング B
外 2：○語 I B	外 2：○語 I B

2回生 前期

主：社会経済システム論 I	主：統計リテラシー
主：多文化社会論 I A	主：国家社会法システム論 I A
主：国家・社会法システム論 II A	主：国際関係論 I A
主：基礎演習公共政策論 I	
自：任意	
外：英語 (E 科目)	外：英語 (E 科目)
外：○語 II A	外：○語 II A

2回生 後期

主：公共政策論Ⅱ

主：比較経営組織論Ⅱ

主：国家・社会法システム論ⅡB

自：任意

外：英語（E科目）

外：○語ⅡB

主：公共政策論基礎ゼミナールⅡ

主：多文化社会論ⅡB

主：国際関係論ⅠB

外：英語Ⅱ（E科目）

外：○語ⅡB

3回生 前期

主：公共政策論演習ⅠA

主：国家・社会法システム論ⅢA

自：任意

主：公共政策論演習ⅡA

主：労働と法

3回生 後期

主：公共政策論演習ⅠB

主：国家・社会法システム論ⅢB

自：任意

主：公共政策論演習ⅡB

主：思想と法

4回生 前期

主：公共政策論演習ⅠA

主：卒業論文

主：公共政策論演習ⅡA

4回生 後期

主：公共政策論演習ⅠB

主：卒業論文

主：公共政策論演習ⅡB

国際文明学系 歴史文化社会論（歴史社会論関係） 履修モデル

【1～2回生（全学共通科目）】

歴史社会論（または歴史文化社会論・国際文明学系）の教員が担当する全学共通科目のほか、人文・社会科学科目、自然科学科目などから幅広く学識を身につける。1回生から学部科目に出席することができる。学系入門科目、外国語をもらさず履修しておく。

＜歴史社会論教員担当・全学共通科目＞

日本史Ⅰ（前期）・Ⅱ（後期）（以下、前期・後期省略）、西洋史Ⅰ・Ⅱ、Western HistoryⅠ・Ⅱなど

＜歴史社会論教員担当・基礎演習・基礎ゼミナール科目＞

基礎演習：日本古代・中世政治文化論Ⅰ・Ⅱ、基礎演習：近世西洋史学、基礎演習：Contemporary History（以上、ILAS科目と同一科目）

日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ、ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールⅠ

＜歴史文化社会論1回生履修可能科目＞

中国文字文化論、中国書誌論、中国古典講読A・B、基礎演習：中国史の基礎資料、基礎演習：日本近代文学、西洋文化論基礎ゼミナールA・Bなど

【2回生】

歴史文化社会論2回生履修可能科目を履修し、専門的な研究にふれる。副専攻科目の履修にとりかかる。

＜歴史文化社会論2回生履修可能科目＞

欧米歴史社会論Ⅰ・Ⅱ（以下A・B省略）、学部特殊講義Ⅲ（以上、歴史社会論）、日本語学・日本文学Ⅰ～Ⅳ、書論・書写演習A・B、日本古典講読論Ⅰ・Ⅱ、日本語学文献講読論Ⅰ・Ⅱ、西欧近現代表象文化論Ⅰ～Ⅳ、西欧古代・中世表象文化論Ⅰ・Ⅲなど

【3回生】

卒業論文の内容と指導教員の選択を念頭に、欧米系か、日本系かのどちらかに重点をおいて履修する。あわせて、歴史文化社会論（または国際文明学系）から幅広く履修する。

＜歴史社会論・欧米系科目＞

欧米歴史社会論Ⅰ・Ⅱ、欧米歴史社会論演習Ⅰ・Ⅱ

＜歴史社会論・日本系科目＞

日本歴史社会論Ⅰ・Ⅱ、日本歴史社会論演習Ⅰ・Ⅱ

＜欧米系・日本系学部特殊講義Ⅲ

【4回生】

指導教員と相談の上、卒業論文のテーマを決め、それに適した授業を履修する。

＜歴史社会論・欧米系科目＞

欧米歴史社会論Ⅰ・Ⅱ、欧米歴史社会論演習Ⅰ・Ⅱ

＜歴史社会論・日本系科目＞

日本歴史社会論Ⅰ・Ⅱ、日本歴史社会論演習Ⅰ・Ⅱ

＜欧米系・日本系学部特殊講義Ⅲ

国際文明学系 歴史文化社会論（東アジア文化論関係）

履修モデル

卒業に必要な単位数 140 ※数字は単位数

主：主専攻科目（48）

※「学部科目である講義科目」24 単位以上、「基礎演習・基礎ゼミナール科目」4 単位以上、「演習科目」4 単位以上を修得すること

入：学系入門科目（4）

外：外国語科目（24）

副：副専攻科目（20）

自：自由科目（32）

卒業論文（12）

※副専攻科目・自由科目については、具体的な記述を省略した。

〔1 回生〕 **主 12**（基礎演習・基礎ゼミ 4 を含む） **入 4 外 16 自 10**

東アジア文化論・歴史文化社会論・国際文明学系の教員が担当する全学共通科目の他、人文・社会・自然科学系の科目を幅広く履修することをお勧めします。2 回生進級時に主専攻学系への分属が決まりますので、入門科目などを通じて各学系の特色を知り、希望する学系を絞り込んでゆきましょう（10 月下旬ごろに分属説明会があります）。1 回生から履修できる学部科目もあります。

《東アジア文化論関係の全学共通科目》

国語国文学、言学、日本近代文学、漢文学、中国文字文化論、中国書誌論、中国古典講読論、東洋史、東洋社会思想史、日本語学文献講読論、日本古典講読論、など

《東アジア文化論関係の基礎演習・基礎ゼミナール科目》

基礎演習（日本近代文学、中国史の基礎資料）、日本近代文学基礎ゼミナール、東洋史基礎ゼミナール、など

《1 回生から履修できる学部科目（東アジア文化論関係）》

中国文字文化論、中国書誌論、中国古典講読論、など

〔2 回生〕 **主 12 外 8 副 8 自 12**

主専攻学系への分属が決定します。学部講義科目の履修を通じて、専門的な学問の世界を体験しましょう。東アジア文化論関係の学部講義科目は 2 回生から履修が可能です。同時に、副専攻をどれにするかを考えて科目を履修し、ものごとを複眼的に見る力を身

につけましょう。外国語科目はこの時期にきちんと履修しておきましょう。教員アドバイザーに勉学等の相談に乗ってもらうこともできますよ。

《2回生から履修可能な学部講義・演習科目（東アジア文化論関係）》

中国社会学Ⅰ、同Ⅱ、日本語学・日本文学Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲ、日本語学文献講読論、日本古典講読論、書論・書写演習、など

〔3回生〕 主16（演習4を含む） 副12 自10

東アジア文化論のどのジャンルで卒論を書くか、だれを指導教員に選ぶかを念頭に置いて、関係する学部科目（歴史文化社会学論、国際文学系を含む）を履修します。演習科目もしっかり履修し、文献の読解力を身につけましょう。

〈日本語学・日本文学関係演習科目〉

日本語学・日本文学演習Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲ、書論・書写演習、基礎演習：日本近代文学、など

〈中国語学・中国文学・中国史学関係演習科目〉

中国文化論演習Ⅱ、中国社会学演習Ⅰ、基礎演習：中国史の基礎資料、など

〔4回生〕 主8 卒業論文12

卒業論文執筆の指導教員を決め、卒論のテーマを決めます。テーマに関連した授業を中心に履修します。将来どのような分野に進んでも、卒論執筆は心に残るできごとです。4年間の勉学の成果を試す意味で、思う存分に書いてみましょう。

国際文明学系 歴史文化社会論（西欧文化論関係）履修モデル

副専攻を⑧比較文明論（学部便覧の副専攻一覧表を参照）とし、最低取得単位を満たすミニマム編成例。

1, 2 回生における文化論の基礎固めと、4 回生における卒論・院試・就活などの自主的活動の時間の確保に配慮したプラン。これは最小限の単位取得プランであるので、本関係と親和性の高い人間科学系創造行為論関係、文芸表象論関係科目など他学系・関係の授業も積極的に履修することが望ましい。

（重）は重複履修 科目の後の数字は単位数

卒業に必要な単位数 140

主：主専攻科目（学系から 48 内基礎ゼミ・基礎演習 4+、演習 4+、講義 24+）

卒：卒業論文（12）

副：副専攻科目（他学系副専攻科目表から 20）

入：学系入門科目（他 2 学系から 4）

外：外国語科目（12+12）

自：自由科目（全共含む 32） 自由科目は科目例省略



（1 回生 前期） 主専攻 4（講義 2 基礎ゼミ・基礎演習 2）		12 コマ計 24 単位
主：国際文明学入門 A	2	
基礎演習：近世西洋史学	2	
副：基礎演習：東洋史入門	2	
入：人間科学入門	2	
外：英語リーディング・英語ライティング・リスニング A		
・仏語 I A・仏語 I A	8	
自：4 科目	8	

Here we go!

（1 回生 後期） 主専攻 4（講義 2 基礎ゼミ・基礎演習 2）		11 コマ計 22 単位
主：国際文明学入門 B	2	
西欧文化論基礎ゼミナール B	2	
副：東洋史基礎ゼミナール II	2	
入：文化環境学入門 A	2	
外：英語リーディング・英語ライティング・リスニング B		
・仏語 I B・仏語 I B	8	
自：3 科目	6	

Keep going!

（2 回生 前期） 主専攻 8（講義 8）		11 コマ計 22 単位
主：西欧近現代表象文化論 I A	2	
西欧近現代表象文化論 III A	2	
西欧古代・中世表象文化論 I A	2	



欧米歴史社会論 I A 2
 副：ポストコロニアル思想文化論 A 2
 ポストコロニアル思想文化論演習 A 2
 外：英語 (E科目) ・フランス語 II A ・ 4
 自：3科目 6

(2回生 後期) 主専攻 8 (講義 6 演習 2)

11 コマ計 22 単位

主：西欧近現代表象文化論 III B 2
 西欧古代・中世表象文化論 I B 2
 欧米歴史社会論 IB 2
 西欧近現代表象文化論演習 III B 2
 副：ポストコロニアル思想文化論 B 2
 ポストコロニアル思想文化論演習 B 2
 外：英語 (E科目) ・フランス語 II B 4
 自：3科目 6



(3回生 前期) 主専攻 8 (講義 6 演習 2)

8 コマ計 16 単位

主：欧米歴史社会論 II A 2
 西欧近現代表象文化論 II A 2
 多文化社会論 II A 2
 西欧近現代表象文化論演習 IVA 2
 副：比較パラダイム文明論 A 2
 東アジア比較思想論 A 2
 自：2科目 4

(3回生 後期) 主専攻 8 (講義 6 演習 2)

7 コマ計 14 単位

主：欧米歴史社会論 IIB 2
 西欧古代・中世表象文化論 III B 2
 多文化社会論 II B 2
 西欧近現代表象文化論演習 IV B 2
 副：東アジア比較思想論 B 2
 比較パラダイム文明論演習 B 2
 自：1科目 2



(4回生 前期) 主専攻 4 (講義 4)

2 コマ計 4 単位

主：西欧近現代表象文化論 IA (重) 2
 西欧近現代表象文化論 II A (重) 2

(4回生 後期) 主専攻 4 (講義 4)

2 コマ計 4 単位

主：西欧近現代表象文化論 IV B 2

西欧古代・中世表象文化論 III B (重)

2

卒業論文：

12

12 単位

Congrats!!!



計 140 単位

〈 多文化複合論 〉

小倉紀蔵

(1) 1～2回生の時期

東アジア比較思想論（講義及び演習）を履修するとともに、西洋思想、中国思想、日本思想、朝鮮思想をはじめとして思想・哲学・文学・文明・文化に関連する多様な授業を履修する。また政治学、社会学、法学、経済学など諸学問の世界観を広く理解する。外国語を習得することも重要だが、高度な日本語能力を養うことも大切である。

(2) 3～4回生の時期

東アジア比較思想論（講義及び演習）を履修するとともに、卒論執筆に向けて問題意識を尖鋭化させつつ、なおも多様な科目を履修する。特定ディシプリンのことしかわからない人間にならないように視野を広げる。

岡 真理

(1) 1～2回生の時期

ポストコロニアル思想文化論（講義および演習、2回生から）を履修するとともに、アジア、アフリカ、ラテンアメリカおよび西洋の文学、思想、文化、社会に関心を持ち、関連する多様な授業を履修する。あわせて英語はもちろんのこと、アラビア語、スペイン語、中国語、朝鮮語やフランス語、イタリア語など、西洋と非西洋世界を知的に往還するための言語を学ぶ。

(2) 3～4回生

ポストコロニアル思想文化論（講義および演習）を中心的に履修するとともに、3回生では、4回生での卒業研究につながる研究テーマを設定し、自分自身の問題関心を明確にし、それを深く掘り下げて考察するためのさまざまな授業を履修する。

〈 地域文明論 〉

赤松紀彦

(1) 1～2回生の時期

東洋史Ⅰ・Ⅱ、東洋史基礎ゼミナール、中国文字文化論、中国書誌論、中国古典講読論など全学共通科目のほか、日本を含むアジアの文化に関連するさまざまな授業を履修する。

(2) 3～4回生の時期

東アジア比較芸能論、同演習および学系内・他学系・文学部における関連科目を履修する。

太田 出

(1) 1～2回生の時期

東洋史Ⅰ・Ⅱや東洋史基礎ゼミナールなど全学共通科目のほか、日本を含むアジア関連の学部科目、たとえば東アジア比較芸能論、地域空間論、東アジア比較思想論、文化人類学方法。ユーラシア文化複合論、ポストコロニアル思想文化論などを履修することが望ましい。語学としては英語、中国語はもちろん、必要に応じて韓国語、東南アジア諸語、ロシア語などを身につけて欲しい。

(2) 3～4回生の時期

東アジア文化交渉論を履修すると同時に、卒業論文の執筆に向けて自分なりの問題関心から取り組む課題を設定し、自分の目で確かめ、自分の足でさがし、最終的には自分の言葉で適切に表現できるよう努力してもらいたい。

〈 文明交流論 〉

稲垣直樹

(近現代フランス文化社会) 履修パターン

「比較パラダイム文明論演習A&B」(重複履修: 4単位 × 2 or 3年 = 8 or 12単位)、 「比較パラダイム文明論A&B」(重複履修: 2単位 × 2 or 3年 = 4 or 6単位)、 「テキスト生成文化論A&B」、 「テキスト生成文化論演習A&B」、 「文化環境学入門A&B」のほか、「ヒストリー・オブ・アイディアズA&B」(多賀先生担当)、 「ヒストリー・オブ・アイディ

アズ演習A&B) (多賀先生担当)、学系内・他学系・文学部〈フランス語学フランス文学専修〉〈二十世紀学専修〉〈西洋史学専修〉の関連科目の中から選択

〈近現代日仏比較文明論〉履修パターン

「比較パラダイム文明論演習A&B」(重複履修: 4単位 × 2 or 3年 = 8 or 12単位)、 「比較パラダイム文明論A&B」(重複履修: 2単位 × 2 or 3年 = 4 or 6単位)、 「テキスト生成文化論A&B」、 「テキスト生成文化論演習A&B」、 「文化環境学入門A&B」のほか、 「日本語学・日本文学ⅢA&B」(須田先生担当)、 「日本語学・日本文学演習ⅢA&B」(須田先生担当)、学系内・他学系・文学部〈フランス語学フランス文学専修〉〈二十世紀学専修〉〈西洋史学専修〉の関連科目の中から選択

塩塚 秀一郎

「テキスト生成文化論A&B」、 「テキスト生成分論演習A&B」、 「比較パラダイム文明論演習A&B」、 「比較パラダイム文明論A&B」、 「文化環境入門A&B」のほか、 「ヒストリー・オブ・アイディアズA&B」(多賀先生担当)、 「ヒストリー・オブ・アイディアズ演習A&B」(多賀先生担当)、学系内・他学系・文学部〈フランス語学フランス文学専修〉〈二十世紀学専修〉〈西洋史学専修〉の関連科目から選択

文化環境学系 環境構成論分野（建築・都市）の履修について

環境構成論は、人間の生活環境である**都市**（集落を含む）と、それらを構成する**建築**（庭園・土木構造物・インフラ・緑地を含む）を扱う学問分野です。

この分野へのアプローチは、個々の構成要素から分析を進めるミクロな視点から、全体像を捉えるマクロな視点に至る、さまざまな段階があります。それぞれの視点において、形成史や構成原理、歴史的・文化的背景、政治的・経済的背景、技術、思想など、フィジカルな現象のみならず人間社会的な事象も視野に入れて、人間の生活環境を深く理解することを目指しています。

ここでは、**2つのコース**を例示します。

人間の生活環境を捉えるには、どちらのコースの内容も必要ですが、自分自身の興味がどちらに近いかを考えて、まずは1コースを選択してください。講義や演習を受けるなかで、両コースを組み合わせ、オリジナルのコースをつくることも可能です。履修回生はおおよそその目安であり、シラバスに断わりの無い限り、履修順序は問いません。他学部の授業を積極的に受講することもお勧めします。開講科目は年度によって変更があり、下記の科目が必ず開講されているとは限りません。時間割およびシラバスで確認してください。

1. 「都市・集落の歴史と社会」コース（マクロな視点）

都市あるいは集落という空間的まとまりが、いかに形成され、変遷し、現在に至っているのかを理解するとともに、現代的課題として、その保全と継承、開発のあり方を考えるコースです。

想定される職種

都市論や都市史、歴史遺産の研究者・技術者／都市開発や都市計画、まちづくりに関係する仕事（ディベロッパー・コンサル・シンクタンク・ゼネコン・信託銀行・NPO法人・行政ほか）／伝統的町並みや文化的景観、世界遺産など歴史的環境の保全にかかわる仕事（国際機関・行政・コンサルほか）

1 回生 事例・基礎学習

学部科目：文化環境学入門A／文化環境学入門B／国際文明学入門A

全学共通科目（主専攻科目となるもの）：

都市空間論／都市空間保全論／都市空間史論

都市空間ゼミナールⅠ・Ⅱ

地域地理学関係科目／人文地理学関係科目

全学共通科目（主専攻科目とならないもの）：

図学A・B／日本都市史／景観デザイン論／都市設計学／

その他、公共政策関係科目など

※自由科目は相談してください

2-3 回生：理論・研究史・演習

学部科目：環境構成論Ⅰ／環境構成論Ⅱ／環境構成論Ⅲ／環境構成論Ⅳ

（「環境構成論」は隔年で内容が変わります。いずれも重複履修可能。）

環境構成論実習Ⅱ／環境構成論実習Ⅲ／環境構成論実習Ⅳ／環境構成

論演習Ⅱ／環境構成論演習Ⅲ／環境構成論演習Ⅲ（演習と実習は隔年

開講。）／学部特殊講義IVB

※地理学 文化人類学 公共政策学 社会学 歴史学 造園学など接続する分野の授業を受講することをお勧めします。

※自由科目は相談してください。

4 回生：事例発見・理論・応用・卒論

卒業研究：研究テーマの設定 フィールドワークや文献調査など

※研究に必要な科目があれば履修。

2. 「建築・くらしの歴史と文化」コース (ミクロな視点)

建築がいかにかその形態を獲得したのか、また、それがどのように変遷したのかを、人間の営み、くらしとの関係に軸足を置きつつ、多面的に考えるコースです。

想定される職種

建築計画や建築史、建築遺産の研究者・技術者／建築・土木・デザインに関する仕事（ディベロッパー・コンサル・住宅メーカー・不動産業者・ゼネコン・信託銀行・デザイン事務所ほか）

1 回生：事例・基礎学習

学部科目：文化環境学入門A／文化環境学入門B

全学共通科目（主専攻科目となるもの）

都市空間論／都市空間保全論

都市空間論基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ

全学共通科目（主専攻科目とならないもの）

図学A・B／住居計画学／日本建築史／世界建築史／芸術学Ⅱ

近代芸術論Bなど

※自由科目は相談してください。

2-3 回生：理論・研究史・演習

学部科目：環境構成論Ⅰ／環境構成論Ⅱ／環境構成論Ⅲ／環境構成論Ⅳ

（「環境構成論」は隔年で内容が変わります。いずれも重複履修可能。）

環境構成論実習Ⅱ／環境構成論実習Ⅲ／環境構成論実習Ⅳ／環境構成

論演習Ⅱ／環境構成論演習Ⅲ／環境構成論演習Ⅲ（演習と実習は隔年

開講。）／学部特殊講義IVB

※美学 歴史学 建築学など接続する分野の授業を受講することをお勧めします。

※自由科目は相談してください。

4 回生：事例発見・理論・応用・卒論

卒業研究：研究テーマの設定 フィールドワークや文献調査など

※研究に必要な科目があれば履修。

都市・建築へのアプローチは無限にあります。

そしてその魅力も無限です。

あなたの視点で都市・建築を読み解いてください。

文化環境学系・文化人類学分野の履修推奨科目

(2016年度入学1回生向け)

文化人類学分野で卒業論文を書こうとする学生は、以下の科目を履修することを推奨します。***は必修です**。文化人類学の方法論の根幹はフィールドワークなので、科目名に「調査」が含まれている授業はとくに重要です。教員は以下の2名です。

かざま かずひろ 風間 計博 (教授) いわたに あやこ 岩谷 彩子 (准教授)

凡例→ (①, ②... 科目通し番号) 科目名 (担当教員名) / [xxx] : 他部局教員所属先
・推奨する受講学年はあくまでも参考程度にして、自らの関心に従って判断してください。

I. 全学共通科目

1. [1～2回生推奨]

【講義科目】

- ①文化人類学Ⅰ (風間、岩谷) : 個別に開講
- ②文化人類学Ⅱ (岩谷)
- ③生態人類学Ⅰ [大学院アジア・アフリカ地域研究研究科]
- ④生態人類学Ⅱ (風間)

【演習科目】

- *⑤基礎演習: 文化人類学調査法 (風間)
- *⑥基礎演習: 社会人類学調査法 (岩谷)

2. [2～3回生推奨]

【講義科目】

- ⑦文化人類学各論Ⅰ (風間)
- ⑧文化人類学各論Ⅱ (風間、岩谷) : 個別に開講
- ⑨宗教人類学 (岩谷)

【演習科目】

- *⑩文化人類学調査演習 (風間)
- *⑪社会人類学調査演習 (岩谷)

・以下は、地域研究の演習科目ですが、人類学関係の教員が開講しています。

- ⑫アフリカ地域研究ゼミナール [大学院アジア・アフリカ地域研究研究科]
- ⑬アジア地域研究ゼミナール [大学院アジア・アフリカ地域研究研究科]

II. 学部専門科目

1. 以下の科目を履修することを強く推奨します。

⑭文化行為論A/B〔人文研〕

⑮生態人類学演習〔大学院アジア・アフリカ地域研究研究科〕

☆風間・岩谷の指導のもとで卒論を書く学生は、それぞれ以下が必修となります。

*⑯環境人類学演習A/B（風間）：重複履修可

*⑰社会人類学演習A/B（岩谷）：重複履修可

2. 4回生時に、指導教員の開講する以下の科目を**必ず履修**してください。

*⑱文化人類学方法A/B（風間）

*⑲社会人類学方法A/B（岩谷）

以上です

文化環境学系 地域空間論分野 履修モデル

地域空間論分野は、**人文地理学**を専門領域の基盤に据えて、多様な地域の様態と空間の構造を学際的に研究する教員と学生・大学院生が集まる研究室です。**小方登**（地理情報・都市地理学）、**小島泰雄**（農村地理学・中国研究）、**山村亜希**（歴史地理学）の三名の教員が協力して、学生一人ひとりが自ら選択したテーマに関する研究と卒業論文作成をサポートしています。

学生と教員が知的共有する**人文地理学**は、人間と自然の関係や地域の多様性を解明することをめざす専門領域ですので、履修にあたっては、地理学に関する履修（全学共通科目、総合人間学部科目、文学部科目）だけでなく、副専攻をはじめとする多様な専門領域の履修に挑戦し、さらには留学を含めた、将来にわたって自らの力を高めることを意識して、学部学生としての日々を有意義に使うことを期待します。なおこの研究室で学ぶにあたって、高校までの地理教育の知識は前提ではありません。

以下、各学年における履修の方向性について記しますが、1回生から全学共通科目の地理学関係科目（たとえば人文地理学各論や地域地理学各論）をたくさん受講することも、2回生から学部科目（たとえば後期に開かれる地域空間論演習Ⅱ・同Ⅲ）を積極的に受講することも、自らの学習計画に応じて設計してください。

【1回生】地域空間論／人文地理学とは、どのような専門領域であるか、そして指導をうけることになる教員はどのような人か、を知るために；

学部科目：【講義】文化環境学入門A

【ゼミ】基礎演習：地理情報、基礎演習：地域地理学、基礎演習：歴史地理学

全学共通科目：【講義】人文地理学、地域地理学、自然地理学、

【演習】地理学基礎ゼミナールⅠ読図、地理学基礎ゼミナールⅡ作図、
地理学基礎ゼミナールⅢ地理情報

*これらの授業は地理学の基礎的な科目です。

【2回生】地域空間論／人文地理学のより深い理解のために；

全学共通科目：【講義】人文地理学各論Ⅰ（都市）、人文地理学各論Ⅱ（村落）、人文地理学各論Ⅲ（歴史地理）、人文地理学各論Ⅳ（地域情報）、人文地理学各論Ⅴ（経済地理）、地域地理学各論Ⅰ（日本）、地域地理学各論Ⅱ（欧

米)、地域地理学各論Ⅲ (アジア・アフリカ)

*これらの授業は地理学の各論であり、1回生から履修を始めてもよい。

【3回生】自らの研究の方向性を考えるために；

学部科目：【講義】地域空間論ⅠA、地域空間論ⅠB、地域空間論ⅡA、
地域空間論ⅡB、地域空間論ⅢA、地域空間論ⅢB、
地域空間論Ⅳ、地域空間論Ⅴ、

【演習】地域空間論演習Ⅰ、地域空間論演習Ⅱ、地域空間論演習Ⅲ、

文学部科目：【講義】地理学特殊講義、地理学講義

*とくに地域空間論演習Ⅰ、地域空間論演習Ⅱ、地域空間論演習Ⅲは、
研究を進める方法を学ぶために、ぜひ履修してください。また指導教員
を選んだ後期からは、四回生・院生が研究報告を行うゼミナールを聴講
することになります。

【4回生】卒業論文を書くために；

卒業論文は自らテーマを決めて行う研究活動ですので、学生は指導教員と対話を重ね
て、考え、書いてゆくこととなります。また、卒業論文の途中経過について大学院演
習等で発表し、研究室の学生・院生・教員と議論を行います。

なお近年の卒論テーマは、「大阪の人口移動」「地名の認知」「六甲アイランド」「古着
店の集積」「京都の賃貸料」「ゲストハウス」「シンガポール」「修学旅行」「京の口」「交
響楽団の場所」「富山とフライブルク」「日本のフィリピン人」「農産物直売所」「近畿
の砂岩採石」「ツーリングと道の駅」「京都の地下水」と多様です。

*とくに4回生でとるべき授業はありませんが、全学共通科目の基
礎的な科目や総合人間学部の専門科目など、自らの教養を深める
ための履修を行うことを期待します。

以 上

自然科学系 4分野履修モデル

「**物理科学**」を主な学習テーマとする場合、履修することが望ましい科目

◆ 各学年において、以下に挙げる科目を履修することを勧めます。

第1学年

<全学共通科目>

物理学基礎論A, B

熱力学

力学統論

物理学実験

線形代数学（講義・演義）A, B

微分積分学（講義・演義）A, B

<学部入門科目>

自然科学入門、分野を横断する自然科学

<学部科目>

体験から学ぶ超伝導

総合フィールド演習

第2学年

<全学共通科目>

振動・波動論

電磁気学統論

解析力学)

統計物理学

特殊相対論

<学部科目>

量子力学 I

物理学演習 A (力学)

<全学共通科目：数学>

線形代数学統論

微分積分学統論A, B

確率論基礎

第3学年

<学部科目>

課題演習・物理科学

量子力学 II

統計力学

物性基礎論Ⅰ、Ⅱ
物性特論Ⅰ、Ⅱ
物理学演習B（電磁気学）
物理数学演習

第4学年

<学部科目>

物性基礎論Ⅰ、Ⅱ
物性特論Ⅰ、Ⅱ
自然科学特別ゼミナールA, B

◆ 学部時代に、物理学における基礎科目である「力学」、「電磁気学」、「熱力学」、「量子力学」、「統計力学」、「物理数学」を習得するとともに、固体物理学、宇宙物理学、素粒子物理学などの専門科目を、興味に応じて学習すると良いと思います。物理学は実験に基づいた学問です。全学共通科目の「物理学実験」や学部科目の「課題演習・物理科学」で提供される実験科目において、実験を経験することを強く勧めます。量子力学と統計力学を学ぶ上では、解析力学の知識が役立ちます。また、プログラミングや Mathematica などの数式処理ソフトの知識は非常に有用です。こうした学習上のアドバイスや、おすすめの教科書、参考書などについては、気軽に物理教員に相談してください。

「化学・物質科学」を主な学習テーマとする場合、履修することが望ましい科目

第1学年

基礎物理化学（量子論）、（熱力学）
基礎有機化学Ⅰ、Ⅱ
基礎化学実験
フロンティア化学
自然科学入門
分野を横断する自然科学
総合フィールド演習
微分積分学（講義・演義）A, B（または理系数学基礎A, B）*
線形代数学（講義・演義）A, B（または理系数学基礎A, B）*
生化学入門（または基礎生物学A, B）
物理学基礎論A, B
物理学実験

第2学年

有機化学演習A, B
無機化学入門A, B
探究型化学課題演習Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ

分子構造機能論演習A, B (第3学年でも履修可)

量子物理学

第3学年

分子構造論

分子反応論

物質分析論

物質機能論

物質構造論

物質反応論

物質変換論

物質構造機能論演習A, B, C, D, E

課題演習: 物質の構造と機能

課題演習: 分子の構造と機能

第4学年

自然科学特別ゼミナールA, B

*微分積分学と線形代数学のセットに代えて数学基礎を学ぶ場合には、理系向けの数学基礎[薬・農・医(保健科学)]を受講することを推奨します。

「生物」を主な学習テーマとする場合、履修することが望ましい科目

第1学年と第2学年

(全学共通科目)

動物自然史 I/II

植物自然史 I/II

生物自然史 I/II

真菌自然史 I/II

行動生態学入門

藻類学概論

「生命の進化」概論

生化学入門

細胞と分子の基礎生物学

生物・生命科学入門

先端生命科学を支える技術I/II

生物学実習 I~III

(学部入門科目)

自然科学入門

分野を横断する自然科学
(学部科目)
総合フィールド演習

第2～3学年
(全学共通科目)
分子細胞生物学501/502(英語講義)
(学部科目)
生物適応変異論I/II
生物多様性・生態学
生体分子機能論 I/II
細胞生物学A/B
分子細胞生物学演習
自然史演習

第3学年
(学部科目)
分子細胞生物学特論
自然史特論
課題演習:生物学
総合フィールド演習(1・2学年時に履修しなかった学生)

第4学年
(学部科目)
自然科学特別ゼミナール A,B

*生物学の実験・研究には、化学・物理・地学・数学(統計学)の基礎知識も役立ちますので、各自の興味合わせて幅広く履修することを推奨します。

「地球科学」を主な学習テーマとする場合に履修することが望ましい科目

- ◆ 学部が提供する地球科学系の全学共通教育科目、学部科目には以下のものがあり、履修することを勧めます。

第1学年／第2学年

[全学共通教育科目]

基礎地球科学A・B

地球科学実験

太陽系と地球の物質 [2回生以上対象]

探究型地球科学課題演習 [2回生以上対象]

計算地球物理学基礎入門・計算地球物理学基礎演習 [2回生以上対象]

フィールド地球科学 [2回生以上対象]

[学部科目]

自然科学入門 (前期)・分野横断の自然科学 (後期) [1回生向け]

総合フィールド実習 [1回生から履修可]

地球科学演習A・B・C [2回生以上対象]

第3学年

課題演習：地球科学

第4学年

自然科学特別ゼミナールA・B

※ 全学共通教育科目では、他学部／研究所からも地球科学系の科目が提供されています。地球科学という幅広い学問分野を展望する意味で、各自の興味に合わせて履修してください。

◆ 数学、物理学、化学、生物学の基礎的な素養は、地球科学を学ぶ際に必要となり、また役立ちます。

下記のような基礎的科目を各自の興味や必要性に応じて履修することを推奨します。

線形代数学 (講義・演義) A・B, 微分積分学 (講義・演義) A・B, または、数学基礎A・B (理系用)

物理学基礎論A・B

基礎物理化学A・B, 基礎有機化学A・B

基礎生物学A・B

◆ 各自の興味に合わせて、理学部など他学部で開講されている地球科学系のより専門領域の講義や実習を積極的に履修することを勧めます。

※ 地球科学は他の学問分野と関わり合いをもつ非常に幅広い分野で、最初からすべてを勉強することは大変です。興味のある分野を勉強しながら、必要に応じて、他分野を勉強していくことになります。

「必要になったら、何でも、いつの時点でも、どこにいても、勉強する」ことが大切です。

学習テーマやそれに合わせた科目履修に関しては、地球科学系教員に気軽に相談してください。



卒業生からの履修アドバイス

ここからのページはこの春に羽ばたいた諸先輩たちが新入生の君達に残してくれた、貴重なアドバイスです。どうぞ参考にしてより充実した、また、後悔しない学生生活を送って下さい。

平成 27 年度卒業 川北 天華

主専攻：人間科学系

副専攻：自然科学系（自然科学）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活への期待に胸ふくらませていることと思います。厳しい受験戦争を乗り越えてこの場に立った今の気持ちを忘れず、ぜひ自分の学びたいことに貪欲に、充実した四年間を過ごしてください。

先輩として模範的なモデルを示せば良かったのですが、実は私はもともと理学部に入學し、二年次に転学部をしてこちらにやって来たものですから、実際良いアドバイスにはならないかもしれません。しょっぱなから変わった例で申し訳ありません。こういう人間も受け入れてくれる懐の深さも総合人間学部ならではとと思ってください。以下、参考までに私の履修ケースをご紹介します。

〈二回生〉理学部に二年間在籍し、宇宙物理をかじりかけたものの、小説への興味を捨てきれず、英文学を学ぶため、総合人間学部人間科学系に転学部しました（私の年は三回生に空き枠がなく、二回生をやり直すことに）。理学部で取得した単位が総人でも一部認められたため、それほど単位には困りませんでした。ただし理学部時代に取得したロシア語四単位ではこちらの語学要件に二単位足りず、アラビア語初級を履修。大変でした。

ここで学系入門科目を履修。一限に休まず出席するのは困難を極める上、周りがキラキ

うの一回生ばかりで心が疲れるので、入門科目を二回生以降に残すのはおすすめしません。

〈三回生〉副専攻を自然科学系に設定。理学部で取得した単位で副専攻の要件が埋まったため、主専攻の授業に集中できました。専門の英米文芸象論の他、文学部の授業も多く履修しました。元々理系だったこともあり、周りの人に比べ人文系の知識が劣っていたので、追いつこうと必死でした。またこの時期にかねてから投稿していた小説でお仕事を貰えることになり、就活と悩んだ末に院進学を決めました。

〈四回生〉単位はほぼ揃っていたので、指導教員の先生の授業と卒論のゼミのみ。卒論のテーマはメアリ・シェリーの『フランケンシュタイン』でした。

卒論と同時に院試勉強に励みましたが、卒論の中間発表会と院試験の合格発表日がカブっていることが発覚した時には運命を呪いました。とはいえおかげさまで合格でき、後期は卒論執筆に集中しました。一冊の小説を一年間かけて読み込むという経験は初めてでしたが、非常に勉強になりましたし、院での研究に向けて課題もたくさん見えました。

総合人間学部に入学されたということは、皆さんはきっと様々な分野に興味があって一つに決められない人たちなのだと思います。四年後、当初の関心とは全く違う専攻になったとしても、最終的にそれがあなたにとっての一番ならば良いのです。たくさん寄り道してたくさん味見できるのがこの学部の強みです。私も元々は宇宙を志していましたが結局英文学専攻になりました。そりゃこんな予定じゃなかったけれど、後悔はしていません。

一番やりたいことをやってください。そのための努力を惜しまないでください。自分の道に出会うまでは、どうぞ視野を広く持ち、スポンジのように何でも吸収してください。あなた方にはその自由があるのです。

平成 27 年度卒 東海林 卓人

主専攻：認知情報学系

副専攻：人間科学系(思想文化論)

総合人間学部の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。みなさんがこれから学生生活を送る上で、参考になるように、ここでは私の経験に基づいて、三つのことについて書かせていただきます。

①人とのつながりについて

京大に入ってくるような学生さんの中には、一定数、「物事を自分一人でやるのが好き」、

「人と群れるのが嫌い」、「友達はいらない」といったタイプの方がいらっしゃると思います。かく言う私もそんな新入生でした。地元の秋田から京都に出てきて知り合いがいないのにも関わらず、全く社会的になろうともせず、サークルにも入らず過ごし、気づけば三年生にもなるのに、友人の数が片手の指で数えられるほどしかいないという有様でした(決して友人の数が多きほうがいいという意味ではありません)。ですが、三年生の前期に留学した時に(オークランド大学：ニュージーランド)、初対面のはずの現地の日本人の方々にたくさん助けられたことから、考え方だけは改めるようになりました。しかしながら、時はすでに遅く、帰国後に控えていた就職活動や卒業論文では、人付き合いを疎かにしてきたツケで非常に苦しむことになりました。こうした経験から、私と同じようなタイプの新入生の方には、勉学だけでなく人付き合いについても頑張ってもらえたらなと思います。是非、学期が始まって最初の一か月だけでも社会的になってください。

②4年間という時間について

学部生の間の四年間はとても長い時間です。この時間をうまく使えば、これまで夢見ていたけれどもできなかったことができます。例えば、私はこの時間を「留学」に使いました。完全に自力で、三年次に、交換留学(向こうの大学での授業料が京大の授業料で賄われる)に参加することを目指して、一年次からずっと、一日三時間の英語学習(入学式の後の国際交流センターでの青谷正妥先生の講演を参考にしました)を継続して TOEFL テストで留学可能な点数を取得し、バイトで留学用の資金集めをして、最終的には、ほぼ自力での留学を達成しました。もちろん、京大の中には、初めから英語が堪能だったり、お金持ちだったりして、簡単に留学に行ってしまう人たちもおりますが、僕は入学したての頃には「留学したいけど、お金も英語力もないしなぁ」と半ばあきらめていたクチなので、やはり、長い時間がもたらしうる可能性は非常に大きいと思います。要は自分が四年間の中で何をしたいかです。是非、入学したての今考えてみてください。

③履修内容の概要

第三に、私がどのように入学から卒業まで単位をとっていったのか、また、それをどのように変えればよかったと思うかについて述べます。

一年次：学系入門科目 全学共通科目 専門科目 第一外国語 第二外国語(フランス語 8H コース)

二年次：全学共通科目 専門科目 第一外国語

三年次：全学共通科目 専門科目 第一外国語 (前期は留学)

四年次：全学共通科目 専門科目 卒業論文

各年次にとった単位数は、一年から四年にかけて、58、20、20、30(内12は卒論)でした。

自分の履修史の中では、二年次にもっと授業を入れて単位数を入れておけばよかったなと思います。後回しにした単位が、四年生の就活中や卒業論文の執筆中にも降りかかってきたからです。ですから、何か履修についてのアドバイスをするとしたら、余裕をもって毎年着実に単位を積み重ねていくこととなるでしょう。それ以外については本当に自由に講義科目を選んでよいと思います。僕は最終学年まで全学共通科目をとり続けるという、あまり他の人がしていないことをしましたが、それでも全く問題はなかったです。先輩の言うことを参考にしつつも、あくまで自分の好きなように履修して大丈夫だと思います。

最後に、総合人間学部は、やることさえきちんとやれば、あとは自分のやりたいことに最大限注ぎ込める学部だと思います。是非みなさんなりの充実した大学生活を送ってください。卒業生として草葉の陰から応援しています。

平成 27 年度卒業 麻植 文佳

主専攻：国際文学系

副専攻：人間科学系（人間社会論）

ご入学おめでとうございます。そして受験勉強お疲れ様でした。

皆様がこの文章を読んでいる頃、私ははるか遠く北海道で社会人としての1歩を踏み出しています。4年前、はじめて総人棟の門をくぐった時には将来日本最北の土地で働いているなど思いもしないことでした。ですが、この4年間で、心底面白いと思える講義や尊敬できる人達に出会い、刺激を受け、進みたいと思う未来が見えてきました。皆様にもこれから刺激的で素敵な出会いが待っているとただで、羨ましく胸が踊ります。

そんな前途洋々な皆様の生活がより充実したものになる一助になればと、私の4年間の過ごし方と、反省を書かせていただきます。参考になる部分があれば幸いです。

●1 回生●

背伸びしてでも興味を優先

多分野に興味があり、なおかつ理転も視野に入れて総人に入学した私にとって、前期の履修届けの時から悩みはつきませんでした。想像以上に講義があったため、Chat★Better

に載っている面白そうな講義を参照して時間割を組みました。認知神経心理学や社会学など面白い講義に出会えた一方、少々背伸びしてでも受講したい講義に挑戦すべきだったと反省しています。何事も自分の能力の限界を決め、諦めるのはもったいないです。

サークルにも所属していましたが、時間の余裕があるこの時期に講義で紹介された本を読んだり、旅行へ行ったりと見聞を広め、本物に触れることも必要だったと思います。

●2 回生●

興味あることに突き進む

サークルのマネジメント回生になり、講義後も土日も会議という目が回る日々を過ごしました。ですが、生来の負けず嫌い完璧主義な性格から「サークルを言い訳に勉強を疎かにしない」と、政治学や国際関係論、現代文明論など 1 回生の頃は敬遠していたが興味ある講義を片端から受講しました。どの講義も面白かったからか、1 回生の時に身につけた怠け癖も抜け、隙間時間に勉強するという習慣を取り戻しました。またこの頃、国際文明学系を主専攻にしようと決めました。それと同時に、ジェンダー論や生命倫理学にも興味があったため、副専攻に人間科学系の人間社会論を選ぶことにしました。

後期には主専攻の単位を揃えようと主に国際文明学系の科目を受講し、余裕のある曜日に人間科学系の科目を履修しました。2 回生の前期までに一般教養科目は揃えておくと後が楽です。また 11 月祭でサークルを引退してから暇な時間が増えたこともあり、京大のホームページをよく閲覧するようになりました。隅々まで見ると、ジョン万次郎プログラムのオックスフォード大学特別サマースクールプログラムの案内や、東日本大震災の被災地を巡るスタディーツアーを見つけ、大学発で面白いプログラムがいくつもあることを知りました。1 回生の頃からアンテナを張っていたらもっと多くの出会いがあったのではないかと後悔もしましたが、とりあえず 3 回生の夏に絶対オックスフォード大学へ留学すると目標を定め、毎日最低でも 2 時間英語の勉強に力を入れるようになりました。

興味ある分野にどんどん挑戦できたのは 2 回生だったかもしれません。

●3 回生●

進みたい道を決め始める

単位に気を揉むこともなかったため、前期はオックスフォード大学留学の条件クリアのため、TOEIC や TOEFL などの試験に力を入れました。また、総人科目の現代社会論を通し、漠然と卒業論文では死生感とかかわりのある研究をしたいと考えるようになりました。

夏休みには念願だったオックスフォード大学への留学を叶え、帰国日の翌日からは就職活動を見据えてインターンシップに参加し、少しずつ将来の仕事について考えるようになりました。留学では周りのレベルの高さに驚き、授業がなければよいのにと願った日もありました。元々英語は得意でしたが、大学生になり使う機会が減るほど実力も落ちていたので、最低でも入試時のレベルを保つ努力をすべきだったと反省しています。上達した英

語はもちろんですが、ここで出会えたレベルの高い仲間は今でも私の財産です。

単位もほぼ揃っていたため、後期からは就職活動に照準を当てていきました。私達の年は面接解禁が 8 月でしたが、行きたい業界を絞ったり、入社試験勉強をしたりと早めにやっていて損はありません。

3 回生では 1、2 回生で追ってきた興味ある分野を掘り下げ、極めたい道を決め始める時期なのかもしれません。

●4 回生●

悔いの残らない学生生活を

前期は 8 月からの面接に向けて、就職活動に本腰を入れました。卒業論文のテーマを漠然とでも決めていたこと、3 回生のうちに卒業論文以外の単位はすべて揃えていたことで、例年よりも遅い就職活動解禁にも対処できたように思います。

後期からは卒業論文執筆を第一に置きつつも、最後の学生生活を謳歌しようと旅行もよくしました。卒業論文のため少しずつ資料を読み込んだり、論文の構想を練ったりしていましたが、本腰を入れ始めたのが提出 2 ヶ月ほど前だったので年が明けた頃には半泣きでパソコンと向き合っていました。提出日が近づいてくると、本当にこの論文で大丈夫かと悩み、現実逃避もしたくなりましたが、興味あるテーマを設定したためなんとか乗り越えられた気がします。面白く研究できなければ 2 万字の論文はなかなか手ごわいはずです。

1 年間、卒業論文を気にしつつ、就職活動をしたり、最後の学生生活を楽しもうと動き回っていたりしたのでなかなか落ち着けることはありませんでした。ですが、やりたいことをやりきったという感覚もあり、密度の濃い充実した 1 年だったように思います。

以前、友人に「京大に入学してよかったか」と聞かれ、少し悩みました。4 年間で振り返ると、後悔したこと、やり直したいことが浮かんだからです。ですが、思い返せば個性的な友人や先生方、引き込まれた講義、感じられた古都の空気など、何気ない毎日がかけがえのないものだったことに気づきました。そんな出会いができたのも京都大学総合人間学部に入學したから。そう思うと、自然と「よかった」と答えていました。

勉強が楽しかったから、サークルや部活に命を捧げられたから、恋人ができたから。理由は何でも良いと思います。皆さんも 4 年後「京大に入学してよかったか」との問いに、自然と「よかった」と答えられていることを祈っています。

平成27年度卒業 近藤 結衣

主専攻：文化環境学系

副専攻：国際文明学系（現代文明論）

みなさんご入学おめでとうございます！夢にまでみた京都大学での生活に心躍らせていることでしょう。京都大学、特に総人は本当に自由な大学生活を謳歌できる場所です。でも逆に言えば自分で責任を持って自分のしたいこと・すべきことを考え抜かなければいけません。授業に部活・サークル、バイト、旅行や留学など何でもできます。でもみんながそれぞれ全く違う大学生活を送ります。高校のように全く同じ授業を受ける友達も、全てを指示してくれる先生もいません。主体的に動かないとせっかくのためになる授業や多様なプログラムを享受できません。大学4年間は過ぎてしまえばあっという間です。今のフレッシュな気持ちを大切に、自分の本当にしたいことは何かしっかり考えましょう。その時先輩達の体験談は一例としてぜひ参考にしてみてください。

1回生

高校時代とは全く異違う、語学の授業以外完全にフリーな状況に右も左もわからず不安になると思います。私も不安で前後期各20弱の単位を取得しました。（そんなに取らなくても大丈夫です。）でも何となく興味のある分野で固めてしまい、もっと選り好みせずに授業を受けてみればよかったと後悔しています。せっかく総人に入ったのだから、幅広い授業を受けてみましょう。特に何を受けても卒業単位に認定される、自由科目の単位を取得する1・2回生の間に。その授業が全く向いていなくてしんどくなったら、途中で諦めてしまってもいいのです。その分の単位を来学期以降取り戻す余裕は十分にあります。いろいろ受けた上で自分のやりたいことをぼんやり考えてみましょう。学系入門の授業は1限で大変ですが、てっとり早くどんな教授が何をしているのか知ることができてお勧めです。おもしろい教授に出会えたら授業をとって内容を掘り下げてみましょう。

2回生

そろそろ専攻を決めなければなりません。この時もまた自由過ぎて難しい選択になると思います。気になる分野の演習を受けるなどして内容を掘り下げつつ、友達や先輩、時には教授や学系事務室の方のお話も参考にしましょう。私は前後期各15弱の単位を取得しました。

3回生

ふと気づくと後期には卒業単位がほぼ揃っていました。とり残した主専攻の単位を中心に、興味のある授業を履修しますが、履修コマ数が少なくなればなるほど学校に行く習慣が薄れ、曜日感覚を失ったり、授業に行くのがしんどくなったりしました。1・2回生の頃に私

のように焦りすぎず4年かけてのんびり単位を取得してもいいし、1・2回生で頑張っ
て単位を取って、休学して旅に出たり就活に専念したりすることもできると改めて強調して
おきます。次は研究室を決めなければなりません。総人は分野が広すぎて、同じ研究室で
もそれぞれに全く違う研究をしているなんてざらです。教授の研究の中から自分の研究を
選ぶのではなく、自分のやりたいことができる研究室を探しましょう。研究室によって卒
業論文の進め方やカラーなどが全く違います。卒論を書く際大変お世話になるので、教授
や院生との相性がいいところを選ぶのも大事なことです。

4回生

4回生と言えば卒業論文！担当教授によって進め方が全く違いますが、定期的にチェック
してもらいながら書き進めていくことをお勧めします。卒業論文を提出し終えた時の感動
はひとしおです。学生最後に有終の美を飾れるように、少しずついいので4月の段階か
ら準備を始めていきましょう。単位に関しては卒業にあと何単位必要か早めに教務に行っ
て数えてもらうことをお勧めします。それを怠った私は最後まで本当に卒業できるのか心
の隅でドッキドキしていました。

最後に

総人はみんながそれぞれ違う道に進むのが面白さ。自分自身も流されることなくしっかり
考えて自分なりの道を見つけ、充実した大学生活を送ってください。今の身近なクラスメ
イトと2年後3年後に自分のやってきたことやそこから得た価値観を語り合えると、本当
に楽しいし総人でよかったと思えると思います。今の京都大学合格の喜びとフレッシュな
気持ちを忘れずに頑張ってください。

平成27年度卒業 田中 寿樹

主専攻：自然科学系

副専攻：認知情報学系（認知・行動科学）

入学おめでとうございます。

私の大学生活が参考になるかどうか分かりませんが、私の経験と学生生活の指針を書かせ
てもらいます。ここに示す指針はあくまで私が考えた個人的なものです。

一回生

僕は入学1、2週間で学校にあまり行かなくなりました。夜中にアルバイトし、朝までゲ
ームして寝て、夕方起きて授業に行けたら行くような生活を繰り返していました。この頃

は非常に楽しかったですが、学校に行っていない罪悪感がありました。サークルにも入りましたが、たまに参加するぐらいでした。

一回生（指針）

外国語科目と総人の学系入門科目の授業には出来るだけ参加するべきだと思います。なぜならこの時期は皆同じ学部の人と仲良くなろうと考えているからです。さらに、外国語科目ぐらいしか総人の人と授業が被らないというのもよく聞きました。僕はこれらの単位を2年以降で取りましたが、単位を取るためだけに授業に行っていました。

また、サークルや部活に入り、仲良くなれそうな人を探すのも良いと思います。何事も行動は早ければ早いほど良いです。

二回生

新たにサークルに入りました。学校では高校の同級生と一緒に昼食を食べたりして、一回生の時よりは授業に行く機会が増えましたが、このままのペースでは留年するかもしれないと感じました。後期からは授業にちゃんと出席するためにバイトを辞め、実家から通うようになりました。二回生の後期は25コマ授業に出ていると思います。

二回生（指針）

自分がやりたいことに思う存分時間を掛けるのが良いと思います。大学時代にこれをやったと胸張れるようなものがあれば後の人生に生きてくるでしょう。

授業では主専攻と副専攻をある程度決めておく和后々楽になります。外国語科目と学系入門科目、全学共通科目の単位は二回生の内に取っておくのがベストです。

三回生

雑貨店でバイトを始めました。非常に楽しく、仕事以外でもよくご飯を食べに行ったりしました。

授業では学生実験に参加し、慣れないながらも何とか毎週実験・課題をこなしていきました。学生実験では様々な分野の研究室の教授や先輩に接して、自分の行きたい研究室がはっきりとしました。単位も三回生の内にほとんど揃えることができました。

三回生（指針）

就職を考えている人は、将来自分が就きたい仕事を考え、その仕事に関する活動や勉強を少しずつ続けていくことが大切です。やりたいことが分からない人は積極的に本を読んだり、人と会ったりするのが良いと思います。大学院に進もうと考えている人は今の内に勉強を進めてください。

四回生は卒業論文や卒業研究、就活で忙しくなる場合が多いので、三回生までに単位を

取っておくのが良いと思います。

四回生

ずっとお世話になっていた教授の研究室に配属されました。四回生の時点であまり勉強していなかったため、大学院に行くのは無理だろうと考え、就活を始めました。就活では周りの学生に比べて自分が学生時代だらだらしていたことを思い知らされました。就活と卒業研究を進めていく内に将来的に化学に関する仕事をしたいと思い始めたので、就活を中断し、大学院受験のために勉強を始めました。結果的に大学院に合格でき、来年度は大学院に進みます。

四回生（指針）

自分の将来のために可能な限り努力しましょう。就活する方はキャリアサポートルームに顔を出してみたり、大学主催の説明会に参加したり、同級生と将来について話あったりするのが良いでしょう。

卒業論文・卒業研究は教授としっかり話し合って進めていけば必ず卒業できるレベルのものが完成すると思います。

最後に

私は大学生活たくさんことから逃げてしまいました。しかし、全ては後々自分に返ってきました。楽しいこともありましたが、その分、悩み苦しみました。新入生も悩むことがあると思います。理想と違ったと思うことがあると思います。しかし、全ては受け入れなければなりません。そして、少しずつ改善していきましょう。

自ら考え、自ら行動し、自らの幸せを見つけてください。

あとがき

この冊子は、総合人間学部の5学系（人間科学系・認知情報学系・国際文明学系・文化環境学系・自然科学系）から、それぞれの「履修モデル」を皆さんに対して提示したものです。

総合人間学部では、約130名の専任教員が、多数の研究分野にわたり多様な授業科目を提供しています（詳細は『教員プロフィール 2016』を参照のこと）。本冊子の6.にあります「卒業生からのアドバイス」も参考にして、自分の知的好奇心を満足させるよう、色々な授業を履修して下さい。そのことから、皆さんそれぞれの学問的立脚点や進路も見えてくると思います。

また、総合人間学部では、創立以来、全学生が主専攻とともに「副専攻」を選択し、必要な単位を修得することを求めています。しかし、授業時間割の編成上、主専攻の授業科目と副専攻の授業科目の開講曜時間が重なる場合もあり、また隔年開講の授業科目もあります。『総合人間学部便覧』を熟読し、履修計画をしっかりと立てて下さい。

この『総合人間学部履修モデル 2016』は、総合人間学部で提供している全ての学問分野をカバーしたものではありません。学系から提示された「モデル」も、また卒業生からの「アドバイス」も、皆さんの履修計画の参考に提示したに過ぎません。自ら考えて履修すること（対話を根幹として自学自習すること）が京都大学の基本理念のひとつであります。しかし、修学上の相談を必要とする場合には、遠慮なく担任やアドバイザーの先生また教務掛（学系事務室〈総人棟1106室〉）にご相談下さい。

なお、京都大学では来年度に向けて全学共通科目の大幅な再編成を検討しています。それに伴ってこの冊子で紹介した履修モデルも来年度には修正される可能性がある、ということを含み置きましょう。もちろん、皆さんが不利益を被ることのないように、全学共通科目再編成に対応した新たな履修モデルの情報を先々何らかの形で提供する所存です。

発行 2016年4月1日

京都大学 総合人間学部 教務委員会

総合人間学部 教務掛

電話 (075) 753-6506、6507